

概 要

調査の概要

1 調査の対象

人口動態統計は、戸籍法等により届出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産のうち、日本における日本人の事象を対象とする。

2 観察対象の範囲

出生 } 平成27年1月1日から平成28年1月14日までに届出られたもののうち、平成27年中に事件発生の
死亡 } あったものを出生は子の、死亡は死亡者の、死産は母の住所地に基づいて取りまとめた。
死産 }
婚姻 } 平成27年1月1日から同年12月31日までに届出られたものを婚姻は夫の、離婚は別居する前の
離婚 } 住所地に基づいて取りまとめた。

3 諸率の算出

$$(1) \text{ 出生 (死亡) 率} = \frac{\text{出生数 (死亡数)}}{\text{人口 (10月1日現在)}} \times 1,000$$

$$(2) \text{ 自然増減率} = \frac{(\text{出生数}) - (\text{死亡数})}{\text{人口 (10月1日現在)}} \times 1,000$$

$$(3) \text{ 乳児 (新生児・早期新生児) 死亡率} = \frac{\text{乳児 (新生児・早期新生児) 死亡数}}{\text{出生数}} \times 1,000$$

$$(4) \text{ 周産期死亡率} = \frac{\text{年間周産期死亡数}}{(\text{出生数}) + (\text{妊娠満22週以後の死産数})} \times 1,000$$

$$(5) \text{ 死産率} = \frac{\text{死産数}}{(\text{出生数}) + (\text{死産数})} \times 1,000$$

$$(6) \text{ 婚姻 (離婚) 率} = \frac{\text{婚姻 (離婚) 届出数}}{\text{人口 (10月1日現在)}} \times 1,000$$

$$(7) \text{ 死因別死亡率} = \frac{\text{死因別死亡数}}{\text{人口 (10月1日現在)}} \times 100,000$$

$$(8) \text{ 妊産婦死亡率} = \frac{\text{妊産婦死亡数}}{(\text{出生数}) + (\text{死産数})} \times 1,000$$

4 表章記号

| | |
|-----------|------------------|
| － 計数のない場合 | ・ 統計項目のありえない場合 |
| … 計数不明の場合 | 0.0 単位の2分の1未満の場合 |

5 諸率の算出に用いた日本人人口

全 国、茨城県男女別人口 資料：「平成27年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

保健所、市町村男女別人口 資料：「茨城県常住人口調査（平成27年10月1日現在）」（茨城県企画部統計課）から平成27年国勢調査時の外国人及び年齢不詳の者を除いた。

6 死因分類等の改正（「ICD-10（2003年版）準拠」の導入）

ICD「疾病及び関連保健問題の国際統計分類（International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems）」とは、疾病、傷害及び死因の統計を国際比較するため、世界保健機関（WHO）から勧告された統計分類である。

日本では、統計法に基づき、平成18年から「ICD-10（1990年版）準拠」を改正した「ICD-10（2003年版）準拠」が用いられている。

死因分類等の改正（「ICD-10（2003年版）準拠」の導入）について

1 「ICD-10（2003年版）準拠」の導入

（1）「ICD-10（2003年版）準拠」の導入

人口動態統計では死亡原因の分類にWHOが設定した基本的な分類及びそれを日本用に整理・統合した各種の分類表を使用している。これらの分類は医学の進歩に伴い、ほぼ10年毎に修正されており、本年度の人口動態統計は、「ICD-10（2003年版）準拠」を適用している。

（2）「ICD-10（2003年版）準拠」導入の経緯

- ① 平成2年5月 世界保健機関総会は各国に対し、ICD-10を使用するよう勧告
- ② 平成4年7月 日本で死亡診断書等検討委員会設置
ICD-10を導入するため、死亡診断書の改正作業に着手
- ③ 平成6年1月 死亡診断書改正の中間報告
- ④ 平成6年2～5月 死亡診断書の改正について医師に対し、各都道府県毎に講習会を開催
- ⑤ 平成7年1月 日本の人口動態統計に「ICD-10」の導入及び死亡診断書の改正実施
- ⑥ 平成18年1月 日本の人口動態統計に「ICD-10（2003年版）準拠」の導入

2 死因統計に関係する主な変更点

（1）新章の設置

「ICD-10（2003年版）準拠」においては、第22章「特殊目的用コード（U00～U99）」が新規に設置され、「重症急性呼吸器症候群[SARS]（U04）」等の項目が含まれている。

（2）用語の改訂

- ① 精神分裂病（ICD-10（1990年版）準拠） → 統合失調症（ICD-10（2003年版）準拠）
- ② 痴呆（ 〃 ） → 認知症（ 〃 ）
- ③ 慢性関節リウマチ（ 〃 ） → 関節リウマチ（ 〃 ）
- ④ 妊娠中毒症（ 〃 ） → 妊娠高血圧症候群（ 〃 ） 等

死因分類表の新旧対照表

| 死因分類 コード | 分 類 名 | 簡単分類コード (ICD-9) |
|-------------|-----------------------------|--|
| 01000 | 感染症及び寄生虫症 | 1-4, 6-25, 84, 5の大部, 26の一部 (135, 1361を除く) 79の一部 (670の一部), 89の一部 (279) |
| 01100 | 腸管感染症 | 1-4 |
| 01200 | 結核 | 5 (0114の一部, 0119Aを除く), 6 |
| 01201 | 呼吸器結核 | 5 (0114の一部, 0119Aを除く) |
| 01202 | その他の結核 | 6 |
| 01300 | 敗血症 | 13 |
| 01400 | ウイルス肝炎 | 18, 19 |
| 01401 | B型ウイルス肝炎 | 18 |
| 01402 | C型ウイルス肝炎 | 19の大部 |
| 01403 | その他のウイルス肝炎 | 19の残り |
| 01500 | ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病 | 89の一部 (2798の大部) |
| 01600 | その他の感染症及び寄生虫症 | 7-12, 14-17, 20-25, 26の一部 (135, 1361を除く), 79の一部 (670の産科的破傷風) 84, 89の一部 (2798の残り) |
| 02000 | 新生物 | 28-38, 41の一部, 89の一部 |
| 02100 | 悪性新生物 | 28-37, 38の一部, 89の一部 |
| 02101 | 口唇, 口腔及び咽喉頭の悪性新生物 | 37の一部 (140-149) |
| 02102 | 食道の悪性新生物 | 28 |
| 02103 | 胃の悪性新生物 | 29 |
| 02104 | 結腸の悪性新生物 | 37の一部 (153) |
| 02105 | 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物 | 30 (肛門を除く) |
| 02106 | 肝及び肝内胆管の悪性新生物 | 31 (1991Cを除く) |
| 02107 | 胆のう及びその他の胆道の悪性新生物 | 37の一部 (156) |
| 02108 | 膵の悪性新生物 | 32 |
| 02109 | 喉頭の悪性新生物 | 37の一部 (161) |
| 02110 | 気管, 気管支及び肺の悪性新生物 | 33 |
| 02111 | 皮膚の悪性新生物 | 37の一部 (172-173) |
| 02112 | 乳房の悪性新生物 | 34 |
| 02113 | 子宮の悪性新生物 | 35 (181を除く) |
| 02114 | 卵巣の悪性新生物 | 37の一部 (1830) |
| 02115 | 前立腺の悪性新生物 | 37の一部 (185) |
| 02116 | 膀胱の悪性新生物 | 37の一部 (188) |
| 02117 | 中枢神経系の悪性新生物 | 37の一部 (191, 192, 1943-1944) |
| 02118 | 悪性リンパ腫 | 37の一部 (201, 200-202の大部) |
| 02119 | 白血病 | 36, 89の一部 |
| 02120 | その他のリンパ組織, 造血組織及び関連組織の悪性新生物 | 37の一部, 89の一部 |
| 02121 | その他の悪性新生物 | 30の一部 (肛門), 31の一部 (1991C) 35の一部 (181), 37の残り |
| 02200 | その他の新生物 | 38の大部, 41の一部, 89の一部 |
| 02201 | 中枢神経系のその他の新生物 | 38の一部 |
| 02202 | 中枢神経系を除くその他の新生物 | 38の一部, 89の一部, 41の一部 (不応性貧血) |
| 03000 | 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 26の一部 (135), 41 (不応性貧血を除く) 89の一部 (HIVを除く免疫機構の障害の大部) |
| 03100 | 貧血 | 41 (不応性貧血を除く) |
| 03200 | その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 26の一部 (135), 89の一部 (HIVを除く免疫機構の障害の大部) |
| 04000 | 内分泌, 栄養及び代謝疾患 | 39, 40, 89の一部 |
| 04100 | 糖尿病 | 39 |
| 04200 | その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患 | 40, 89の一部 |
| 05000 | 精神及び行動の障害 | 42, 89の一部 |
| 05100 | 血管性及び詳細不明の認知症 | 42の大部 (2901の一部及び2903を除く290) |
| 05200 | その他の精神及び行動の障害 | 42の一部, 89の一部 |
| 06000 | 神経系の疾患 | 43, 44, 60-89-101の一部 |
| 06100 | 髄膜炎 | 43 |
| 06200 | 脊髄神経筋萎縮症及び関連症候群 | 44の一部 (335) |
| 06300 | パーキンソン病 | 44の一部 (332) |
| 06400 | アルツハイマー病 | 44の一部 (2901の一部及び3310) |
| 06500 | その他の神経系の疾患 | 44の一部, 60の一部 (435), 89の一部, 101の一部 (悪性症候群) |
| 07000 | 眼及び付属器の疾患 | 89の一部 (眼の疾患) |
| 08000 | 耳及び乳様突起の疾患 | 89の一部 (耳の疾患) |

| 死因分類 コード | 分類名 | 単分類コード (ICD-9) |
|-------------|---------------------|---|
| 09000 | 循環器系の疾患 | 45-55, 58-59, 56の大部, 60 (435を除く), 61#の大部 |
| 09100 | 高血圧性疾患 | 48, 49 |
| 09101 | 高血圧性心疾患及び心腎疾患 | 48 |
| 09102 | その他の高血圧性疾患 | 49 |
| 09200 | 心疾患 (高血圧性を除く) | 45の一部 (391), 46, 51-52, 54-55, 56の大部 |
| 09201 | 慢性リウマチ性心疾患 | 46, 54の一部 |
| 09202 | 急性心筋梗塞 | 51 (410の大部) |
| 09203 | その他の虚血性心疾患 | 52 |
| 09204 | 慢性非リウマチ性心内膜疾患 | 54の一部 |
| 09205 | 心筋症 | 56の一部 |
| 09206 | 不整脈及び伝導障害 | 56の一部 |
| 09207 | 心不全 | 55 |
| 09208 | その他の心疾患 | 45の一部 (391), 56の一部 |
| 09300 | 脳血管疾患 | 58, 59, 60 (435を除く) |
| 09301 | くも膜下出血 | 60の一部 (430) |
| 09302 | 脳内出血 | 58の一部 (431) |
| 09303 | 脳梗塞 | 59 |
| 09304 | その他の脳血管疾患 | 58-60の残り (435を除く) |
| 09400 | 大動脈瘤及び解離 | 61の一部 (441) |
| 09500 | その他の循環器系の疾患 | 45の一部61の一部 (441, 446, 459を除く) |
| 10000 | 呼吸器系の疾患 | 5の一部 (0114の一部, 0119A), 62-68, 89の一部 (511の一部, 7991の大部) |
| 10100 | インフルエンザ | 64 |
| 10200 | 肺炎 | 63 |
| 10300 | 急性気管支炎 | 62 |
| 10400 | 慢性閉塞性肺疾患 | 67, 66の一部, 89の一部 (496) |
| 10500 | 喘息 | 68 |
| 10600 | その他の呼吸器系の疾患 | 5の一部 (0114の一部, 0119A), 66の一部, 89の一部 (511の一部, 7991の大部) |
| 11000 | 消化器系の疾患 | 69-74, 89の一部 |
| 11100 | 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍 | 69 |
| 11200 | ヘルニア及び腸閉塞 | 71 |
| 11300 | 肝疾患 | 73, 74 |
| 11301 | 肝硬変 (アルコール性を除く) | 73の一部 (5715, 5716) |
| 11302 | その他の肝疾患 | 73の残り, 74 |
| 11400 | その他の消化器系疾患 | 70, 72, 89の一部 |
| 12000 | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 89の一部 (680-709) |
| 13000 | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 89の一部 (710-739, 274, 2794) |
| 14000 | 腎尿路性器系の疾患 | 76-77, 89の一部 |
| 14100 | 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患 | 76・89の一部 |
| 14200 | 腎不全 | 76・77の一部 |
| 14201 | 急性腎不全 | 76の一部 (584) |
| 14202 | 慢性腎不全 | 77の一部 (585) |
| 14203 | 詳細不明の腎不全 | 77の一部 (586) |
| 14300 | その他の尿路性器系の疾患 | 77の一部, 89の一部 (7880) |
| 15000 | 妊娠, 分娩及び産じょく | 79 (670の産科的破傷風を除く), 80 |
| 16000 | 周産期に発生した病態 | 82, 85-87, 81の一部 |
| 16100 | 妊娠期間及び胎児発育に関連する障害 | 87の一部 |
| 16200 | 出産外傷 | 82の一部 |
| 16300 | 周産期に特異的な呼吸傷害及び心血管障害 | 82の大部, 81の一部 |
| 16400 | 周産期に特異的な感染症 | 85, 86, 87の一部 |
| 16500 | 胎児及び新生児の出血性傷害及び血液障害 | 87の大部 |
| 16600 | その他の周産期に発生した病態 | 87の残り |
| 17000 | 先天奇形, 変形及び染色体異常 | 81の大部 |
| 17100 | 神経系の先天奇形 | 81の一部 (740-742の大部) |
| 17200 | 循環器系の先天奇形 | 81の一部 (745-746, 747の大部) |
| 17201 | 心臓の先天奇形 | 81の一部 (745-746) |
| 17202 | その他の循環器系の先天奇形 | 81の一部 (747の大部) |
| 17300 | 消化器系の先天奇形 | 81の一部 (749-751) |
| 17400 | その他の先天奇形及び変形 | 81の一部 |
| 17500 | 染色体異常, 他に分類されないもの | 81の一部 (758) |

| 死因分類 コード | 分類名 | 簡単分類コード（ICD-9） |
|-------------|---|--|
| 18000 | 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 88, 89 (7991の大部及び7880を除く)の一部, 56の一部, 61の一部 (4590) |
| 18100 | 老衰 | 88 |
| 18200 | 乳幼児突然死症候群 | 89の一部 (7980) |
| 18300 | その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に 分類されないもの | 89の残り, 56の一部, 61の一部 (4590) |
| 20000 | 傷病及び死亡の外因 | E104-E117 |
| 20100 | 不慮の事故 | E104-E114 |
| 20101 | 交通事故 | E104, E105 |
| 20102 | 転倒・転落 | E107 |
| 20103 | 不慮の溺死及び溺水 | E110 |
| 20104 | 不慮の窒息 | E111 |
| 20105 | 煙、火及び火災への暴露 | E108 |
| 20106 | 有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露 | E106 |
| 20107 | その他の不慮の事故 | E109, E112-E114 |
| 20200 | 自殺 | E115 |
| 20300 | 他殺 | E116 |
| 20400 | その他の外因 | E117 |
| 22000 | 特殊目的用コード | 新設 |
| 22100 | 重症急性呼吸器症候群[SARS] | 新設 |
| 22200 | その他の特殊目的用コード | 新設 |

注： この比較表は、死因分類（ICD-10（2003年版）準拠）の各項目に該当する死因簡単分類（ICD-9）の分類項目及び分類項目の一部である基本分類を掲げたものである。

分類番号のみ記載されている場合は、おおむねその全てが該当し、「…の一部」と記載されている場合は、死因分類のいくつかの項目に分類されることを示す。なお、「…の一部」又は「…の残り」として、具体的に基本分類が明示されていないものは、多岐にわたるため省略した。

乳児死因分類表

乳児死亡について、重要な死因を把握するための分類表である。なお、乳児死亡を全体として概観する場合には、死因分類表を使用する。

| 乳児死因 分類コード | 分 類 名 | 乳児死因 分類コード | 分 類 名 |
|---------------|-------------------|---------------|---------------------------|
| Ba 01 | 腸管感染症 | Ba 29 | 周産期に発生した心血管障害 |
| Ba 02 | 敗血症 | Ba 30 | その他の周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害 |
| Ba 03 | 麻疹 | Ba 31 | 新生児の細菌性敗血症 |
| Ba 04 | ウイルス肺炎 | Ba 32 | その他の周産期に特異的な感染症 |
| Ba 05 | その他の感染症及び寄生虫症 | Ba 33 | 胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害 |
| Ba 06 | 悪性新生物 | Ba 34 | その他の周産期に発生した病態 |
| Ba 07 | 白血病 | Ba 35 | 先天奇形、変形及び染色体異常 |
| Ba 08 | その他の悪性新生物 | Ba 36 | 神経系の先天奇形 |
| Ba 09 | その他の新生物 | Ba 37 | 心臓の先天奇形 |
| Ba 10 | 栄養失調症及びその他の栄養欠乏症 | Ba 38 | その他の循環器系の先天奇形 |
| Ba 11 | 代謝障害 | Ba 39 | 呼吸器系の先天奇形 |
| Ba 12 | 髄膜炎 | Ba 40 | 消化器系の先天奇形 |
| Ba 13 | 脊髄性筋萎縮症及び関連症候群 | Ba 41 | 筋骨格系の先天奇形及び変形 |
| Ba 14 | 脳性麻痺 | Ba 42 | その他の先天奇形及び変形 |
| Ba 15 | 心疾患（高血圧性を除く） | Ba 43 | 染色体異常，他に分類されないもの |
| Ba 16 | 脳血管疾患 | Ba 44 | 乳幼児突然死症候群 |
| Ba 17 | インフルエンザ | Ba 45 | その他の全ての疾患 |
| Ba 18 | 肺炎 | Ba 46 | 不慮の事故 |
| Ba 19 | 喘息 | Ba 47 | 交通事故 |
| Ba 20 | ヘルニア及び腸閉塞 | Ba 48 | 転倒・転落 |
| Ba 21 | 肝疾患 | Ba 49 | 不慮の溺死及び溺水 |
| Ba 22 | 腎不全 | Ba 50 | 胃内容物の誤えん及び気道閉塞を生じた食物等の誤えん |
| Ba 23 | 周産期に発生した病態 | Ba 51 | その他の不慮の窒息 |
| Ba 24 | 妊娠期間及び胎児発育に関連する障害 | Ba 52 | 煙，火及び火災への曝露 |
| Ba 25 | 出産外傷 | Ba 53 | 有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露 |
| Ba 26 | 出生時仮死 | Ba 54 | その他の不慮の事故 |
| Ba 27 | 新生児の呼吸窮迫 | Ba 55 | 他殺 |
| Ba 28 | 周産期に発生した肺出血 | Ba 56 | その他の外因 |

1 概 要

地域における人口集団の規模や、性、年齢を構成させる直接的な要因は、出生及び死亡の自然動態と、他の地域との間における転入、転出による社会動態があげられる。さらに婚姻や離婚及び死産も将来の人口集団の動向を知るうえに重要な基礎をなすものである。

人口動態統計は、近代的な官庁統計として明治32年から実施され、ただ単に人口集団の動きを知るのみでなく、公衆衛生行政においても重要な役割を果たしている。

本県における平成27年の出生、死亡、死産、婚姻、離婚等の概況は表1に示すとおりである。

前年に対し死亡、自然死産及び離婚は増加し、その他の項目は減少した。これらを平均発生間隔の観点からみると、出生は24分13秒、死亡は16分56秒毎にそれぞれ1人、死産は17時間54分毎に1胎、婚姻は38分56秒、離婚は1時間41分毎にそれぞれ1件の割合で発生している。

表1 人口動態総覧

| | 実 数 | | | | 率 | | | 平均発生間隔 | |
|-----------|---------|---------|-------|--------|-------|-------|-------|------------|------------|
| | 平成27年 | 平成26年 | 増減 | 増減率 | 平成27年 | 平成26年 | 対前年比 | 平成27年 | 平成26年 |
| 出 生 | 21,700 | 21,873 | △ 173 | △ 0.8 | 7.5 | 7.6 | 98.7 | 24分13秒 | 24分02秒 |
| 死 亡 | 31,025 | 30,341 | 684 | 2.2 | 10.8 | 10.5 | 102.9 | 16分56秒 | 17分19秒 |
| 自 然 増 加 | △ 9,325 | △ 8,468 | △ 857 | 9.2 | △ 3.2 | △ 2.9 | 110.3 | … | … |
| 乳 児 死 亡 | 53 | 58 | △ 5 | △ 9.4 | 2.4 | 2.7 | 88.9 | 6日21時間16分 | 6日07時間02分 |
| 新 生 児 死 亡 | 21 | 31 | △ 10 | △ 47.6 | 1.0 | 1.4 | 71.4 | 17日09時間08分 | 11日18時間34分 |
| 死 産 | 489 | 491 | △ 2 | △ 0.4 | 22.0 | 22.0 | 100.0 | 17時間54分 | 17時間50分 |
| 自 然 | 249 | 239 | 10 | 4.0 | 11.2 | 10.7 | 104.7 | 1日11時間10分 | 1日12時間39分 |
| 人 工 | 240 | 252 | △ 12 | △ 5.0 | 10.8 | 11.3 | 95.6 | 1日12時間30分 | 1日10時間45分 |
| 婚 姻 | 13,498 | 13,800 | △ 302 | △ 2.2 | 4.7 | 4.8 | 97.9 | 38分56秒 | 38分05秒 |
| 離 婚 | 5,190 | 4,955 | 235 | 4.5 | 1.80 | 1.72 | 104.7 | 1時間41分 | 1時間46分 |

出 生 出生数は21,700人で前年に対し173人減少し、人口千対の出生率でみると7.5で前年を0.1ポイント下回った。

死 亡 死亡数は31,025人で前年に対し684人増加し、人口千対の死亡率でみると10.8で前年を0.3ポイント上回った。

自然増加 出生数から死亡数を減じたものである。前年に対し857人減少し、人口千対の自然増加率でみると△3.2ポイントで前年を0.3ポイント下回った。

乳児死亡 乳児死亡数は53人で前年に対し5人減少し、出生千対の乳児死亡率は2.4で前年を0.3ポイント下回った。乳児死亡率は、乳児の生存が母体の健康状態、養育条件等の影響を受けるため、衛生状態や生活水準を反映する重要な指標のひとつである。

死 産 自然死産は249胎で前年に対し10胎の増加であり、出産（出生＋死産）千対の死産率でみると11.2ポイントで、前年を上回った。人工死産については、240胎で前年より12胎減少し、死産率では10.8で前年を0.5ポイント下回った。

婚 姻 婚姻件数は13,498件で前年より302件減少し、人口千対の婚姻率においては4.7で前年を0.1ポイント下回った。

離 婚 離婚件数は5,190件で前年より235件増加し、人口千対の離婚率においては1.80で前年を0.08ポイント上回った。

2 出 生

(1) 出生の推移

本県の出生数及び出生率の推移は図1のとおりである。出生率は、昭和22年から24年の「ベビーブーム」期を頂点にして、以後急激に低下し、昭和36年の16.4と約10年間に半減した。これは戦後における出生抑制の急激な普及によるものである。41年に12.6を記録したがこれは「ひのえうま」の影響によるものと考えられ、42年にはその反動により一挙に18.5まで上昇し、その後再び横ばい状態となった。46年から49年にかけての「第二次ベビーブーム」期では47年に19.0を記録したが、50年以降再び下降を続けている。なお、平成27年の出生率は7.5となり、全国平均より0.5ポイント低く、都道府県順位では高い方から第31位である。

一方、本県の合計特殊出生率は、表3のように昭和55年に2.00を下回り、低下傾向が続いていたが、平成17年の1.32を境に増加傾向に転じている。なお、平成27年は1.48と前年を0.05ポイント上回った。

また、女兒だけについて母の年齢階級別出生率を合計した総再生産率、さらにこの女兒が妊娠可能な年齢を過ぎるまでの死亡を見込んだ純再生産率をみると、平成27年では総再生産率が0.71、純再生産率が0.70である。

県内市町村の出生率順位は表2のとおりである。

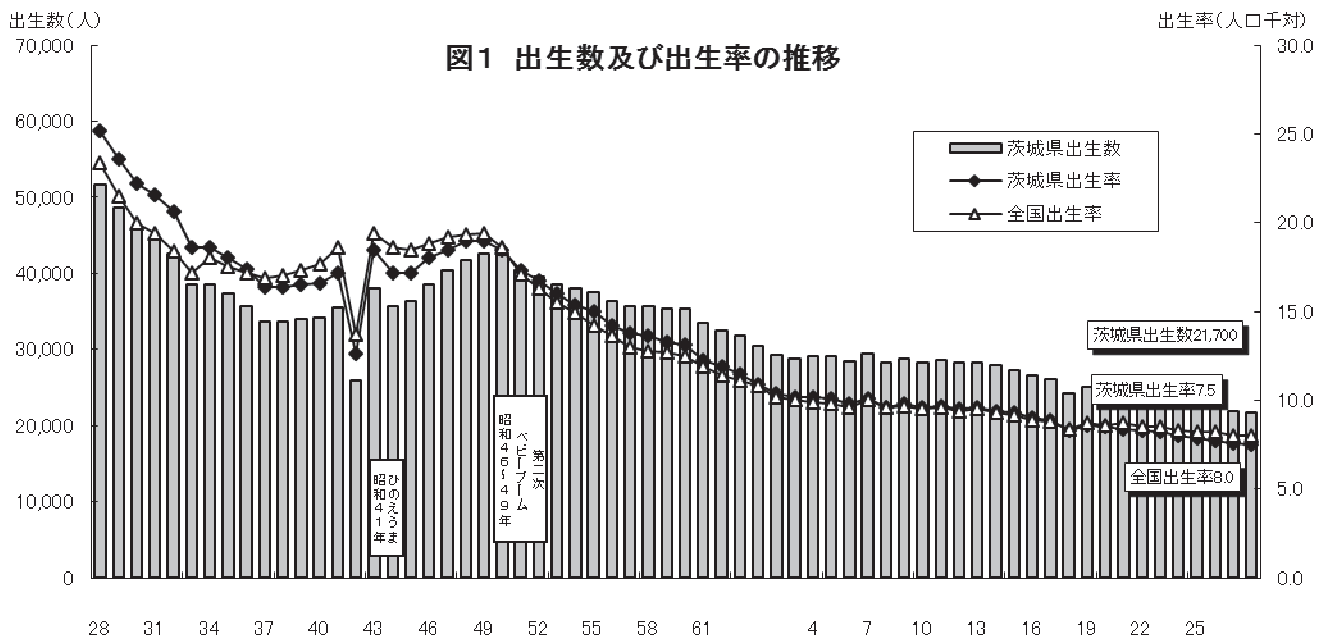


表2 市町村別出生率の高低順位

| | | | | 出生率(人口千対) | |
|----|---------|------|----|-----------|-----|
| 順位 | 高率市町村 | 出生率 | 順位 | 低率市町村 | 出生率 |
| 1 | つくばみらい市 | 11.0 | 1 | 利根町 | 3.2 |
| 2 | つくば市 | 10.4 | 2 | 河内町 | 3.7 |
| 3 | 守谷市 | 9.5 | 3 | 城里町 | 4.1 |
| 4 | 神栖市 | 9.5 | 4 | 常陸太田市 | 4.4 |
| 5 | 水戸市 | 9.2 | 5 | 大子町 | 4.7 |
| 6 | 東海村 | 9.2 | 6 | 稲敷市 | 4.8 |
| 7 | 牛久市 | 8.7 | 7 | 五霞町 | 5.1 |
| 8 | 鹿嶋市 | 8.7 | 8 | 行方市 | 5.1 |
| 9 | 結城市 | 8.1 | 9 | 桜川市 | 5.4 |
| 10 | ひたちなか市 | 8.1 | 10 | 北茨城市 | 5.5 |

表3 女子人口の再生産率

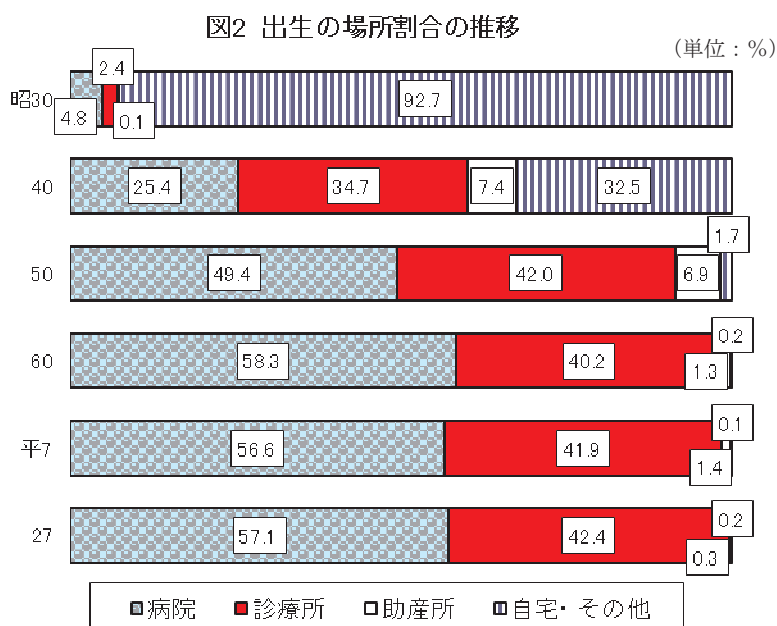
| 年次 | 茨城県 | | | | 年次 | 茨城県 | | | |
|-----|---------|---------|-------|-------|----|---------|---------|-------|-------|
| | 合計特殊出生率 | 合計特殊出生率 | 総再生産率 | 純再生産率 | | 合計特殊出生率 | 合計特殊出生率 | 総再生産率 | 純再生産率 |
| 昭31 | ... | 2.22 | 1.08 | 0.99 | 61 | 1.84 | 1.72 | 0.84 | 0.83 |
| 32 | ... | 2.04 | 0.99 | 0.92 | 62 | 1.80 | 1.69 | 0.82 | 0.81 |
| 33 | ... | 2.11 | 1.03 | 0.96 | 63 | 1.72 | 1.66 | 0.81 | 0.80 |
| 34 | ... | 2.04 | 0.99 | 0.93 | 平元 | 1.63 | 1.57 | 0.76 | 0.76 |
| 35 | 2.31 | 2.00 | 0.97 | 0.92 | 2 | 1.64 | 1.54 | 0.75 | 0.74 |
| 36 | ... | 1.96 | 0.95 | 0.90 | 3 | 1.64 | 1.53 | 0.75 | 0.74 |
| 37 | ... | 1.98 | 0.96 | 0.91 | 4 | 1.60 | 1.50 | 0.73 | 0.72 |
| 38 | ... | 2.00 | 0.97 | 0.93 | 5 | 1.54 | 1.46 | 0.71 | 0.70 |
| 39 | ... | 2.05 | 1.00 | 0.96 | 6 | 1.57 | 1.50 | 0.73 | 0.72 |
| 40 | 2.35 | 2.14 | 1.04 | 1.01 | 7 | 1.53 | 1.42 | 0.69 | 0.69 |
| 41 | ... | 1.58 | 0.76 | 0.73 | 8 | 1.49 | 1.43 | 0.69 | 0.69 |
| 42 | ... | 2.23 | 1.08 | 1.05 | 9 | 1.45 | 1.39 | 0.68 | 0.67 |
| 43 | ... | 2.13 | 1.03 | 1.00 | 10 | 1.44 | 1.38 | 0.67 | 0.67 |
| 44 | ... | 2.13 | 1.03 | 1.00 | 11 | 1.42 | 1.34 | 0.65 | 0.65 |
| 45 | 2.30 | 2.13 | 1.03 | 1.00 | 12 | 1.47 | 1.36 | 0.66 | 0.65 |
| 46 | ... | 2.16 | 1.04 | 1.02 | 13 | 1.40 | 1.33 | 0.65 | 0.64 |
| 47 | ... | 2.14 | 1.04 | 1.01 | 14 | 1.38 | 1.32 | 0.64 | 0.64 |
| 48 | ... | 2.14 | 1.04 | 1.01 | 15 | 1.34 | 1.29 | 0.63 | 0.62 |
| 49 | ... | 2.05 | 0.99 | 0.97 | 16 | 1.33 | 1.29 | 0.63 | 0.62 |
| 50 | 2.09 | 1.91 | 0.93 | 0.91 | 17 | 1.32 | 1.26 | 0.61 | 0.61 |
| 51 | ... | 1.85 | 0.90 | 0.88 | 18 | 1.35 | 1.32 | 0.64 | 0.64 |
| 52 | ... | 1.80 | 0.87 | 0.86 | 19 | 1.35 | 1.34 | 0.65 | 0.64 |
| 53 | ... | 1.79 | 0.87 | 0.86 | 20 | 1.37 | 1.37 | 0.67 | 0.66 |
| 54 | ... | 1.77 | 0.86 | 0.84 | 21 | 1.37 | 1.37 | 0.67 | 0.66 |
| 55 | 1.87 | 1.75 | 0.85 | 0.84 | 22 | 1.44 | 1.39 | 0.67 | 0.67 |
| 56 | ... | 1.74 | 0.85 | 0.83 | 23 | 1.39 | 1.39 | 0.68 | 0.67 |
| 57 | ... | 1.77 | 0.86 | 0.85 | 24 | 1.41 | 1.41 | 0.68 | 0.68 |
| 58 | 1.91 | 1.80 | 0.88 | 0.86 | 25 | 1.42 | 1.43 | 0.70 | 0.69 |
| 59 | 1.94 | 1.81 | 0.88 | 0.87 | 26 | 1.43 | 1.42 | 0.69 | 0.69 |
| 60 | 1.86 | 1.76 | 0.86 | 0.85 | 27 | 1.48 | 1.45 | 0.71 | 0.70 |

- 注 1) 合計特殊出生率は一人の女子が一生の間に生む男女児を表す。
 2) 総再生産率は一人の女子が生む次世代の母となるべき女兒の数を表す。
 3) 純再生産率は上記の出生女兒のうち生き残って次の世代の母となるべき女兒の数を表す。

資料：国立社会保障・人口問題研究所

(2) 出生の場所

出生の場所別割合を表したものが図2である。施設内出生（病院，診療所，助産所での出生）は，昭和30年にはわずか7.3%であったものが40年には67.5%，60年には99.8%と急激に増加した。施設外出生（上記以外の自宅などでの出生）は例外的となっている。これは施設内分娩の勧奨，妊婦の母子衛生思想の普及，住宅事情等によるものと考えられる。



(3) 出生順位

出生順位の構成割合を年次別にみると表4のとおりである。昭和40年から、年々第1子及び第2子の割合が増えた。55年から59年までは第1子の割合が若干多かったが、62年には第1子、第2子の割合が同じとなり、63年以降再び第1子の割合が多くなった。なお、平成27年では第1子の出生が46.3%を占め、第4子以上はわずか3.7%にすぎない。

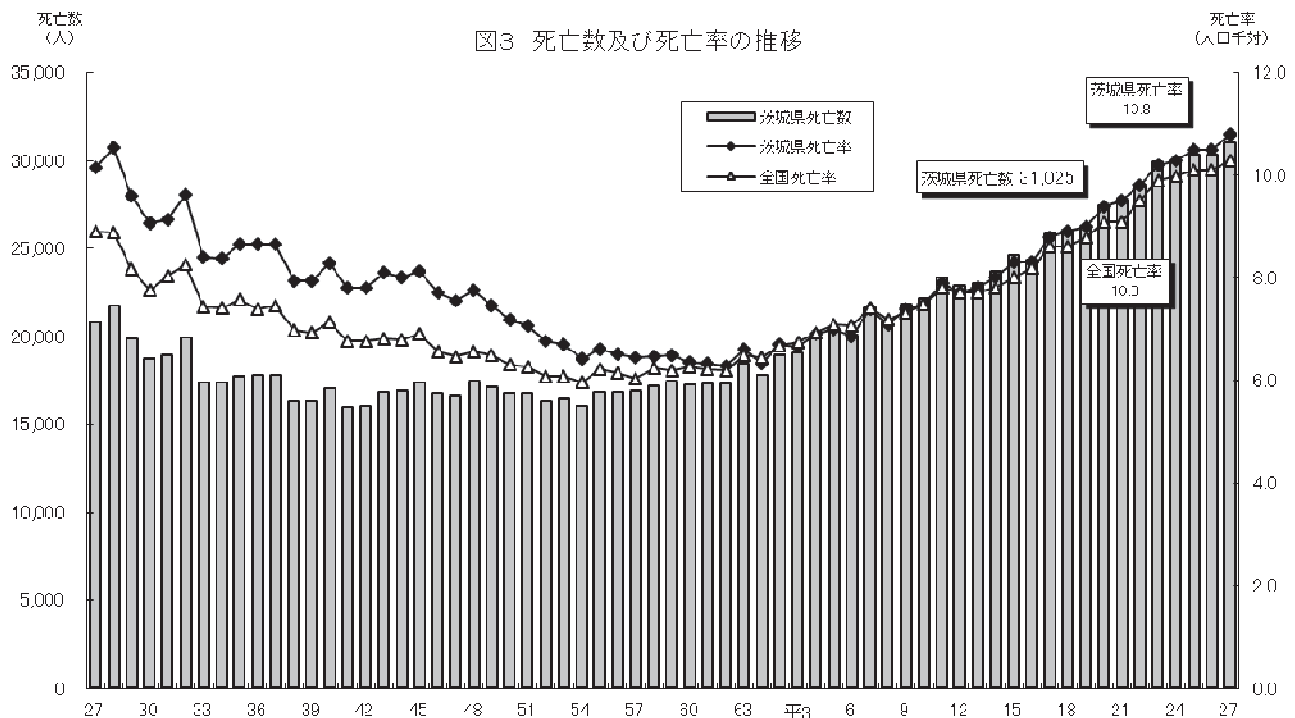
表4 出生順位別出生割合の推移

| 年次 | 全数 % | 第1子 % | 第2子 % | 第3子 % | 第4子 % | 第5子以上 % | 年次 | 全数 % | 第1子 % | 第2子 % | 第3子 % | 第4子 % | 第5子以上 % |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 昭45 | 100.0 | 42.9 | 38.4 | 14.3 | 3.0 | 1.4 | 平11 | 100.0 | 48.8 | 36.5 | 12.2 | 2.0 | 0.5 |
| 50 | 100.0 | 43.7 | 40.7 | 12.8 | 2.0 | 0.8 | 12 | 100.0 | 47.7 | 37.2 | 12.4 | 2.1 | 0.7 |
| 55 | 100.0 | 41.0 | 41.8 | 14.6 | 1.9 | 0.7 | 13 | 100.0 | 48.1 | 37.0 | 12.1 | 2.2 | 0.6 |
| 60 | 100.0 | 40.4 | 40.7 | 16.0 | 2.2 | 0.7 | 14 | 100.0 | 48.7 | 36.6 | 11.9 | 2.0 | 0.7 |
| 61 | 100.0 | 40.7 | 39.8 | 16.5 | 2.3 | 0.7 | 15 | 100.0 | 47.2 | 38.5 | 11.8 | 1.9 | 0.6 |
| 62 | 100.0 | 40.5 | 40.5 | 16.4 | 2.0 | 0.6 | 16 | 100.0 | 47.2 | 38.6 | 11.5 | 2.0 | 0.7 |
| 63 | 100.0 | 41.5 | 39.7 | 16.0 | 2.2 | 0.6 | 17 | 100.0 | 46.3 | 38.8 | 12.2 | 2.1 | 0.6 |
| 平元 | 100.0 | 41.8 | 39.0 | 16.4 | 2.2 | 0.6 | 18 | 100.0 | 46.9 | 38.0 | 12.4 | 2.0 | 0.7 |
| 2 | 100.0 | 42.3 | 38.2 | 16.4 | 2.4 | 0.7 | 19 | 100.0 | 46.4 | 37.5 | 13.2 | 2.2 | 0.8 |
| 3 | 100.0 | 43.8 | 37.3 | 15.8 | 2.4 | 0.7 | 20 | 100.0 | 45.8 | 38.1 | 13.2 | 2.2 | 0.8 |
| 4 | 100.0 | 45.3 | 37.4 | 14.6 | 2.1 | 0.6 | 21 | 100.0 | 46.5 | 37.2 | 13.2 | 2.4 | 0.8 |
| 5 | 100.0 | 46.5 | 36.8 | 13.9 | 2.2 | 0.6 | 22 | 100.0 | 45.8 | 37.2 | 13.5 | 2.7 | 0.7 |
| 6 | 100.0 | 46.5 | 37.2 | 13.5 | 2.2 | 0.6 | 23 | 100.0 | 44.8 | 38.0 | 13.6 | 2.7 | 0.8 |
| 7 | 100.0 | 46.5 | 37.0 | 13.5 | 2.3 | 0.7 | 24 | 100.0 | 45.3 | 37.3 | 13.9 | 2.6 | 0.8 |
| 8 | 100.0 | 46.5 | 37.8 | 13.1 | 2.0 | 0.6 | 25 | 100.0 | 45.6 | 36.9 | 13.9 | 2.7 | 0.9 |
| 9 | 100.0 | 46.8 | 37.6 | 12.9 | 2.1 | 0.6 | 26 | 100.0 | 46.1 | 36.9 | 13.4 | 2.7 | 0.9 |
| 10 | 100.0 | 47.6 | 37.2 | 12.7 | 1.9 | 0.6 | 27 | 100.0 | 46.3 | 36.8 | 13.2 | 2.8 | 0.9 |

3 死 亡

(1) 死亡の推移

本県の死亡数及び死亡率の推移を表したものが図3である。死亡率は、明治から大正にかけて人口千対20前後であったが、昭和初期から低下傾向となり、昭和10年代になると死亡数3万、死亡率17前後となり、昭和18年には戦前の最低率15.9を記録している。昭和23年には、戦後の混乱を脱して死亡率は急速に低下し12.0となり、その後も低下傾向を持続し、昭和29年には9.6と10を割り、41年に至っては7.8と減少している。その後も、減少傾向を示していたが、昭和60年から62年の6.3を最低として63年からは増加傾向に転じた。平成27年の死亡率は10.8となり、都道府県順位では高い方から第31位である。



(2) 死亡率の地域的状況

県内の地域死亡率の高低順位を市町村ごとに示すと表5のとおりである。

表5 市町村別死亡率の高低順位

| 死亡率(人口千対) | | | | | |
|-----------|-------|------|----|---------|------|
| 順位 | 高率市町村 | 死亡率 | 順位 | 低率市町村 | 死亡率 |
| 1 | 大子町 | 20.8 | 1 | 守谷市 | 5.9 |
| 2 | 河内町 | 15.2 | 2 | つくば市 | 7.6 |
| 3 | 常陸大宮市 | 15.1 | 3 | 牛久市 | 7.9 |
| 4 | 常陸太田市 | 15.1 | 4 | 東海村 | 8.5 |
| 5 | 行方市 | 15.0 | 5 | ひたちなか市 | 8.7 |
| 6 | 大洗町 | 14.5 | 6 | 神栖市 | 8.7 |
| 7 | 桜川市 | 14.3 | 7 | 龍ヶ崎市 | 9.0 |
| 8 | 城里町 | 14.2 | 8 | 阿見町 | 10.0 |
| 9 | 稲敷市 | 13.6 | 9 | つくばみらい市 | 10.1 |
| 10 | 高萩市 | 13.5 | 10 | 水戸市 | 10.1 |

(3) 死因別死亡

平成27年の主な死因順位の死亡数及び総数に対する割合は表6のとおりである。前年と比較すると、死亡数については、悪性新生物、肺炎、老衰等が増加し、心疾患、脳血管疾患、腎不全等が減少している。

死因順位に用いる分類項目

| 分類名 | 死因分類コード | 分類名 | 死因分類コード | 分類名 | 死因分類コード |
|--------------------|---------|-------------|---------|-----------------|---------|
| 腸管感染症 | 01100 | 眼及び付属器の疾患 | 07000 | 皮膚及び皮下組織の疾患 | 12000 |
| 結核 | 01200 | 耳及び乳様突起の疾患 | 08000 | 筋骨格系及び結合組織の疾患 | 13000 |
| 敗血症 | 01300 | 高血圧性疾患 | 09100 | 糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患 | 14100 |
| ウイルス肝炎 | 01400 | 心疾患 | 09200 | 腎不全 | 14200 |
| ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病 | 01500 | 脳血管疾患 | 09300 | 妊娠、分娩及び産じょく | 15000 |
| 悪性新生物 | 02100 | 大動脈瘤及び動脈瘤 | 09400 | 周産期に発生した病態 | 16000 |
| その他の新生物 | 02200 | インフルエンザ | 10100 | 先天奇形、変形及び染色体異常 | 17000 |
| 貧血 | 03100 | 肺炎 | 10200 | 老衰 | 18100 |
| 糖尿病 | 04100 | 急性気管支炎 | 10300 | 乳幼児突然死症候群 | 18200 |
| 血管及び管腔不明の痲呆 | 05100 | 慢性閉塞性肺疾患 | 10400 | 不慮の事故 | 20100 |
| 髄膜炎 | 06100 | 喘息 | 10500 | 自殺 | 20200 |
| 脊髄性筋萎縮症及び関連症候群 | 06200 | 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍 | 11100 | 他殺 | 20300 |
| パーキンソン病 | 06300 | ヘルニア及び腸閉塞 | 11200 | | |
| アルツハイマー病 | 06400 | 肝疾患 | 11300 | | |

注：「敗血症」には「新生児の細菌性敗血症」を、「心疾患」には「高血圧性心疾患」を含まない。

「新生児の細菌性敗血症」は「周産期に発生した病態」に、「高血圧性心疾患」「高血圧性心疾患」に含まれる。

表6 死因順位別にみた死亡数及び死亡率

| | 死亡数 | | | 死亡率(人口10万対) | | | 対総死亡割合 | |
|-------------|--------|--------|-----|-------------|---------|-------|--------|-------|
| | 27年 | 26年 | 増減 | 27年 | 26年 | 対前年比 | 27年 | 26年 |
| 総数 | 31,025 | 30,341 | 684 | 1,079.0 | 1,053.1 | 102.5 | 100.0 | 100.0 |
| 悪性新生物 | 8,823 | 8,639 | 184 | 306.8 | 299.9 | 102.3 | 28.5 | 28.5 |
| 心疾患(高血圧性除く) | 4,719 | 4,762 | △43 | 164.1 | 165.3 | 99.3 | 15.2 | 15.7 |
| 肺炎 | 3,145 | 3,048 | 97 | 109.4 | 105.8 | 103.4 | 10.1 | 10.0 |
| 脳血管疾患 | 3,021 | 3,035 | △14 | 105.1 | 105.3 | 99.8 | 9.8 | 10.0 |
| 老衰 | 2,085 | 1,898 | 187 | 72.5 | 65.9 | 110.0 | 6.7 | 6.3 |
| 不慮の事故 | 879 | 868 | 11 | 30.6 | 30.1 | 101.7 | 2.8 | 2.9 |
| 腎不全 | 565 | 574 | △9 | 19.6 | 19.9 | 98.5 | 1.8 | 1.9 |
| 自殺 | 536 | 568 | △32 | 18.6 | 19.7 | 94.4 | 1.7 | 1.9 |
| 大動脈瘤及び解離 | 416 | 419 | △3 | 14.5 | 14.5 | 100.0 | 1.4 | 1.4 |
| 慢性閉塞性肺疾患 | 381 | 401 | △20 | 13.3 | 13.9 | 95.7 | 1.2 | 1.3 |

表7 年次別にみた死因順位及び率(人口10万対)

| 年次 | 第1位 | | 第2位 | | 第3位 | | 第4位 | | 第5位 | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|-------|------------------|------|
| | 死因 | 率 | 死因 | 率 | 死因 | 率 | 死因 | 率 | 死因 | 率 |
| 昭35 | 脳血管疾患 | 206.3 | 悪性新生物 | 102.9 | 心疾患 | 90.1 | 老衰 | 77.0 | 肺炎および 気管支炎 | 55.2 |
| 40 | 脳血管疾患 | 228.3 | 悪性新生物 | 115.9 | 心疾患 | 96.0 | 老衰 | 70.1 | 肺炎および 気管支炎 | 45.5 |
| 45 | 脳血管疾患 | 227.3 | 悪性新生物 | 118.1 | 心疾患 | 102.3 | 老衰 | 54.9 | 不慮の事故 | 51.9 |
| 50 | 脳血管疾患 | 203.8 | 悪性新生物 | 121.0 | 心疾患 | 98.5 | 不慮の事故 | 40.0 | 肺炎および 気管支炎 | 38.7 |
| 55 | 脳血管疾患 | 172.5 | 悪性新生物 | 131.6 | 心疾患 | 108.8 | 老衰 | 35.6 | 不慮の事故 および有害作用 | 32.4 |
| 56 | 脳血管疾患 | 168.4 | 悪性新生物 | 133.4 | 心疾患 | 110.8 | 老衰 | 35.0 | 肺炎および 気管支炎 | 31.4 |
| 57 | 脳血管疾患 | 159.0 | 悪性新生物 | 138.4 | 心疾患 | 112.5 | 肺炎および 気管支炎 | 34.1 | 老衰 | 31.2 |
| 58 | 脳血管疾患 | 145.3 | 悪性新生物 | 141.8 | 心疾患 | 117.9 | 肺炎および 気管支炎 | 34.6 | 老衰 | 32.3 |
| 59 | 脳血管疾患 | 147.0 | 悪性新生物 | 141.2 | 心疾患 | 119.5 | 肺炎および 気管支炎 | 33.9 | 老衰 | 32.3 |
| 60 | 悪性新生物 | 143.4 | 脳血管疾患 | 133.3 | 心疾患 | 114.3 | 肺炎および 気管支炎 | 38.7 | 不慮の事故及 び有害作用 | 31.7 |
| 61 | 悪性新生物 | 147.4 | 脳血管疾患 | 126.3 | 心疾患 | 117.1 | 肺炎および 気管支炎 | 38.9 | 老衰 | 36.0 |
| 62 | 悪性新生物 | 157.8 | 脳血管疾患 | 120.1 | 心疾患 | 111.9 | 肺炎および 気管支炎 | 40.9 | 老衰 | 32.0 |
| 63 | 悪性新生物 | 162.1 | 心疾患 | 125.7 | 脳血管疾患 | 120.9 | 肺炎および 気管支炎 | 44.5 | 老衰 | 34.5 |
| 平成 | 悪性新生物 | 162.4 | 心疾患 | 119.8 | 脳血管疾患 | 107.3 | 肺炎および 気管支炎 | 45.5 | 不慮の事故 及び有害作用 | 32.7 |
| 2 | 悪性新生物 | 165.1 | 心疾患 | 127.0 | 脳血管疾患 | 114.4 | 肺炎および 気管支炎 | 54.1 | 不慮の事故 及び有害作用 | 32.3 |
| 3 | 悪性新生物 | 169.0 | 心疾患 | 131.1 | 脳血管疾患 | 105.7 | 肺炎および 気管支炎 | 56.1 | 不慮の事故 及び有害作用 | 33.9 |
| 4 | 悪性新生物 | 172.6 | 心疾患 | 140.8 | 脳血管疾患 | 107.7 | 肺炎および 気管支炎 | 57.8 | 不慮の事故 及び有害作用 | 35.8 |
| 5 | 悪性新生物 | 174.8 | 心疾患 | 142.8 | 脳血管疾患 | 108.7 | 肺炎および 気管支炎 | 59.9 | 不慮の事故 及び有害作用 | 37.2 |
| 6 | 悪性新生物 | 180.5 | 心疾患 | 122.6 | 脳血管疾患 | 106.0 | 肺炎および 気管支炎 | 61.4 | 不慮の事故 及び有害作用 | 34.4 |
| 7 | 悪性新生物 | 197.1 | 脳血管疾患 | 130.3 | 心疾患 | 114.0 | 肺炎 | 57.6 | 不慮の事故 | 39.8 |
| 8 | 悪性新生物 | 206.5 | 脳血管疾患 | 130.0 | 心疾患 | 107.4 | 肺炎 | 48.0 | 不慮の事故 | 37.0 |
| 9 | 悪性新生物 | 211.0 | 脳血管疾患 | 125.1 | 心疾患 | 113.6 | 肺炎 | 55.9 | 不慮の事故 | 38.0 |
| 10 | 悪性新生物 | 216.5 | 脳血管疾患 | 123.8 | 心疾患 | 115.3 | 肺炎 | 58.9 | 不慮の事故 | 34.9 |
| 11 | 悪性新生物 | 219.4 | 脳血管疾患 | 126.7 | 心疾患 | 123.6 | 肺炎 | 71.5 | 不慮の事故 | 37.8 |
| 12 | 悪性新生物 | 229.5 | 脳血管疾患 | 119.9 | 心疾患 | 117.7 | 肺炎 | 67.6 | 不慮の事故 | 36.4 |
| 13 | 悪性新生物 | 230.0 | 心疾患 | 121.3 | 脳血管疾患 | 120.6 | 肺炎 | 63.7 | 不慮の事故 | 36.0 |
| 14 | 悪性新生物 | 235.0 | 心疾患 | 130.2 | 脳血管疾患 | 121.1 | 肺炎 | 66.7 | 不慮の事故 | 37.2 |
| 15 | 悪性新生物 | 243.6 | 心疾患 | 137.3 | 脳血管疾患 | 121.1 | 肺炎 | 76.4 | 不慮の事故 | 36.1 |
| 16 | 悪性新生物 | 250.3 | 心疾患 | 129.0 | 脳血管疾患 | 114.9 | 肺炎 | 74.4 | 不慮の事故 | 33.4 |
| 17 | 悪性新生物 | 257.0 | 心疾患 | 144.0 | 脳血管疾患 | 122.9 | 肺炎 | 85.1 | 不慮の事故 | 37.1 |
| 18 | 悪性新生物 | 259.5 | 心疾患 | 146.1 | 脳血管疾患 | 118.8 | 肺炎 | 87.2 | 不慮の事故 | 34.5 |
| 19 | 悪性新生物 | 262.2 | 心疾患 | 143.8 | 脳血管疾患 | 118.1 | 肺炎 | 86.0 | 不慮の事故 | 32.0 |
| 20 | 悪性新生物 | 273.3 | 心疾患 | 149.1 | 脳血管疾患 | 119.7 | 肺炎 | 97.1 | 不慮の事故 | 35.8 |
| 21 | 悪性新生物 | 276.5 | 心疾患 | 150.5 | 脳血管疾患 | 118.4 | 肺炎 | 96.1 | 老衰 | 36.6 |
| 22 | 悪性新生物 | 275.2 | 心疾患 | 150.1 | 脳血管疾患 | 114.1 | 肺炎 | 101.7 | 老衰 | 43.5 |
| 23 | 悪性新生物 | 278.8 | 心疾患 | 165.9 | 脳血管疾患 | 119.1 | 肺炎 | 112.4 | 老衰 | 44.6 |
| 24 | 悪性新生物 | 285.5 | 心疾患 | 170.7 | 脳血管疾患 | 111.0 | 肺炎 | 106.3 | 老衰 | 54.6 |
| 25 | 悪性新生物 | 291.1 | 心疾患 | 164.3 | 脳血管疾患 | 112.5 | 肺炎 | 107.4 | 老衰 | 61.2 |
| 26 | 悪性新生物 | 299.9 | 心疾患 | 165.3 | 脳血管疾患 | 105.8 | 肺炎 | 105.3 | 老衰 | 65.9 |
| 27 | 悪性新生物 | 306.8 | 心疾患 | 164.1 | 肺炎 | 109.4 | 脳血管疾患 | 105.1 | 老衰 | 72.5 |

| 第 6 位 | | 第 7 位 | | 第 8 位 | | 第 9 位 | | 第 10 位 | |
|-----------------|------|------------------|------|--------------------------------|------|--------------------------------|------|--------------------------------|------|
| 死 因 | 率 | 死 因 | 率 | 死 因 | 率 | 死 因 | 率 | 死 因 | 率 |
| 不慮の事故 | 35.4 | その他の新生 児固有の疾患 | 31.9 | 胃 腸 炎 | 24.2 | 全 結 核 | 23.8 | 腎 炎 お よ び ネ フ ロ ー セ | 17.6 |
| 不慮の事故 | 38.4 | 高血圧性疾患 | 22.2 | 胃 腸 炎 | 17.0 | その他の新生 児固有の疾患 | 16.9 | 全 結 核 | 16.1 |
| 肺炎および 気管支炎 | 42.9 | 高血圧性疾患 | 19.4 | 喘 管 支 息 | 14.0 | 自 消化性潰瘍 | 11.7 | | |
| 老 衰 | 37.0 | 高血圧性疾患 | 20.1 | 自 殺 | 16.1 | 肝 硬 変 | 11.0 | 糖 尿 病 | 8.2 |
| 肺炎および 気管支炎 | 31.1 | 自 殺 | 17.1 | 高血圧性疾患 | 15.0 | 慢 性 肝 疾 患 及 び 肝 硬 変 | 12.6 | 腎 炎、ネ フ ロ ー セ 候 群、ネ フ ロ ー セ | 7.5 |
| 不慮の事故 及び有害作用 | 29.8 | 自 殺 | 15.1 | 高血圧性疾患 | 13.6 | 慢 性 肝 疾 患 及 び 肝 硬 変 | 11.2 | 腎 炎、ネ フ ロ ー セ 候 群、ネ フ ロ ー セ | 7.9 |
| 不慮の事故 及び有害作用 | 30.9 | 自 殺 | 15.4 | 高血圧性疾患 | 11.9 | 慢 性 肝 疾 患 及 び 肝 硬 変 | 11.5 | 腎 炎、ネ フ ロ ー セ 候 群、ネ フ ロ ー セ | 7.8 |
| 不慮の事故 及び有害作用 | 29.7 | 自 殺 | 19.2 | 高血圧性疾患 | 12.6 | 慢 性 肝 疾 患 及 び 肝 硬 変 | 12.5 | 腎 炎、ネ フ ロ ー セ 候 群、ネ フ ロ ー セ | 8.5 |
| 不慮の事故 及び有害作用 | 31.3 | 自 殺 | 19.8 | 高血圧性疾患 | 14.1 | 慢 性 肝 疾 患 及 び 肝 硬 変 | 10.0 | 糖 尿 病 | 9.4 |
| 老 衰 | 31.5 | 自 殺 | 19.9 | 高血圧性疾患 | 13.1 | 慢 性 肝 疾 患 及 び 肝 硬 変 | 12.3 | 腎 炎、ネ フ ロ ー セ 候 群、ネ フ ロ ー セ | 10.0 |
| 不慮の事故 及び有害作用 | 30.3 | 自 殺 | 21.6 | 慢 性 肝 疾 患 及 び 肝 硬 変 | 12.7 | 高血圧性疾患 | 11.4 | 腎 炎、ネ フ ロ ー セ 候 群、ネ フ ロ ー セ | 8.6 |
| 不慮の事故 及び有害作用 | 28.9 | 自 殺 | 18.6 | 慢 性 肝 疾 患 及 び 肝 硬 変 | 11.5 | 高血圧性疾患 | 10.1 | 腎 炎、ネ フ ロ ー セ 候 群、ネ フ ロ ー セ | 9.3 |
| 不慮の事故 及び有害作用 | 31.9 | 自 殺 | 17.5 | 慢 性 肝 疾 患 及 び 肝 硬 変 | 12.8 | 腎 炎、ネ フ ロ ー セ 候 群、ネ フ ロ ー セ | 11.0 | 高血圧性疾患 | 10.2 |
| 老 衰 | 29.0 | 自 殺 | 15.7 | 慢 性 肝 疾 患 及 び 肝 硬 変 | 11.0 | 腎 炎、ネ フ ロ ー セ 候 群、ネ フ ロ ー セ | 10.2 | 高血圧性疾患 | 9.5 |
| 老 衰 | 30.2 | 自 殺 | 14.9 | 腎 炎、ネ フ ロ ー セ 候 群、ネ フ ロ ー セ | 13.2 | 慢 性 肝 疾 患 及 び 肝 硬 変 | 12.7 | 高血圧性疾患 | 9.6 |
| 老 衰 | 27.2 | 自 殺 | 14.7 | 腎 炎、ネ フ ロ ー セ 候 群、ネ フ ロ ー セ | 12.2 | 腎 炎、ネ フ ロ ー セ 候 群、ネ フ ロ ー セ | 11.2 | 糖 尿 病 | 8.8 |
| 老 衰 | 26.2 | 自 殺 | 16.4 | 腎 炎、ネ フ ロ ー セ 候 群、ネ フ ロ ー セ | 13.0 | 慢 性 肝 疾 患 及 び 肝 硬 変 | 12.1 | 糖 尿 病 | 8.5 |
| 老 衰 | 26.5 | 自 殺 | 16.3 | 腎 炎、ネ フ ロ ー セ 候 群、ネ フ ロ ー セ | 13.2 | 腎 炎、ネ フ ロ ー セ 候 群、ネ フ ロ ー セ | 12.6 | 糖 尿 病 | 8.7 |
| 老 衰 | 27.3 | 自 殺 | 15.7 | 腎 炎、ネ フ ロ ー セ 候 群、ネ フ ロ ー セ | 13.6 | 慢 性 肝 疾 患 及 び 肝 硬 変 | 12.0 | 糖 尿 病 | 9.1 |
| 老 衰 | 23.2 | 自 殺 | 17.0 | 糖 尿 病 | 12.8 | 腎 不 全 | 12.6 | 肝 疾 患 | 12.3 |
| 老 衰 | 20.6 | 自 殺 | 17.2 | 肝 疾 患 | 12.2 | 糖 尿 病 | 12.1 | 腎 不 全 | 11.1 |
| 老 衰 | 24.1 | 自 殺 | 18.0 | 糖 尿 病 | 12.3 | 腎 不 全 | 11.9 | 肝 疾 患 | 11.5 |
| 老 衰 | 24.0 | 自 殺 | 21.9 | 糖 尿 病 | 12.2 | 腎 不 全 | 12.1 | 肝 疾 患 | 11.8 |
| 老 衰 | 25.9 | 自 殺 | 23.5 | 腎 不 全 | 13.4 | 肝 疾 患 | 11.8 | 糖 尿 病 | 11.6 |
| 自 殺 | 24.0 | 老 衰 | 21.9 | 腎 不 全 | 13.1 | 肝 疾 患 | 12.6 | 糖 尿 病 | 11.3 |
| 自 殺 | 23.1 | 老 衰 | 22.6 | 腎 不 全 | 13.0 | 肝 疾 患 | 12.6 | 糖 尿 病 | 11.8 |
| 自 殺 | 24.4 | 老 衰 | 23.3 | 腎 不 全 | 13.5 | 肝 疾 患 | 12.4 | 糖 尿 病 | 12.3 |
| 自 殺 | 25.3 | 老 衰 | 23.7 | 腎 不 全 | 14.8 | 糖 尿 病 | 12.7 | 肝 疾 患 | 11.0 |
| 老 衰 | 24.0 | 自 殺 | 24.0 | 肝 疾 患 | 13.4 | 腎 不 全 | 13.3 | 糖 尿 病 | 12.4 |
| 老 衰 | 24.7 | 自 殺 | 23.7 | 腎 不 全 | 14.4 | 糖 尿 病 | 13.0 | 肝 疾 患 | 11.9 |
| 老 衰 | 25.6 | 自 殺 | 24.9 | 腎 不 全 | 15.6 | 糖 尿 病 | 13.5 | 肝 疾 患 | 13.1 |
| 老 衰 | 28.9 | 自 殺 | 26.3 | 腎 不 全 | 15.6 | 糖 尿 病 | 13.7 | 肝 疾 患 | 11.9 |
| 老 衰 | 33.4 | 自 殺 | 23.0 | 腎 不 全 | 15.8 | 糖 尿 病 | 14.5 | 肝 疾 患 | 14.3 |
| 不慮の事故 | 35.3 | 自 殺 | 25.0 | 腎 不 全 | 17.8 | 糖 尿 病 | 13.3 | 肝 疾 患 | 13.1 |
| 不慮の事故 | 35.7 | 自 殺 | 23.9 | 腎 不 全 | 18.8 | 糖 尿 病 | 14.4 | 慢 性 閉 塞 性 肺 患 疾 | 13.1 |
| 不慮の事故 | 35.5 | 自 殺 | 23.4 | 腎 不 全 | 18.3 | 糖 尿 病 | 14.5 | 慢 性 閉 塞 性 肺 患 疾 | 13.9 |
| 不慮の事故 | 32.9 | 自 殺 | 21.1 | 腎 不 全 | 20.3 | 糖 尿 病 | 14.2 | 慢 性 閉 塞 性 肺 患 疾 | 13.8 |
| 不慮の事故 | 34.9 | 自 殺 | 21.2 | 腎 不 全 | 19.5 | 肝 疾 患 | 14.8 | 大 動 脈 瘤 及 び 解 | 14.0 |
| 不慮の事故 | 30.1 | 腎 不 全 | 19.9 | 自 殺 | 19.7 | 慢 性 閉 塞 性 肺 患 疾 | 14.5 | 大 動 脈 瘤 及 び 解 | 13.9 |
| 不慮の事故 | 30.6 | 腎 不 全 | 19.6 | 自 殺 | 18.6 | 大 動 脈 瘤 及 び 解 | 14.5 | 慢 性 閉 塞 性 肺 患 疾 | 13.3 |

平成 27 年における本県死因の順位は表 8 に示すとおりである。全国に比べ、悪性新生物、心疾患、肺炎等が高くなっている。

死因別構成割合を表したものが図 4 である。悪性新生物、心疾患、肺炎が 53.7%を占めている。

表 8 死因順位の比較

| 順位 | 茨 城 県 | | 全 国 | |
|----|-----------------|-------|-----------------|-------|
| | 死 因 | 死亡率 | 死 因 | 死亡率 |
| 1 | 悪 性 新 生 物 | 306.8 | 悪 性 新 生 物 | 295.5 |
| 2 | 心 疾 患 | 164.1 | 心 疾 患 | 156.5 |
| 3 | 肺 炎 | 109.4 | 肺 炎 | 96.5 |
| 4 | 脳 血 管 疾 患 | 105.1 | 脳 血 管 疾 患 | 89.4 |
| 5 | 老 衰 | 72.5 | 老 衰 | 67.7 |
| 6 | 不 慮 の 事 故 | 30.6 | 不 慮 の 事 故 | 30.6 |
| 7 | 腎 不 全 | 19.6 | 腎 不 全 | 19.6 |
| 8 | 自 殺 | 18.6 | 自 殺 | 18.5 |
| 9 | 大 動 脈 瘤 及 び 解 離 | 14.5 | 大 動 脈 瘤 及 び 解 離 | 13.5 |
| 10 | 慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患 | 13.3 | 慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患 | 12.6 |

図 4 死因構成割合

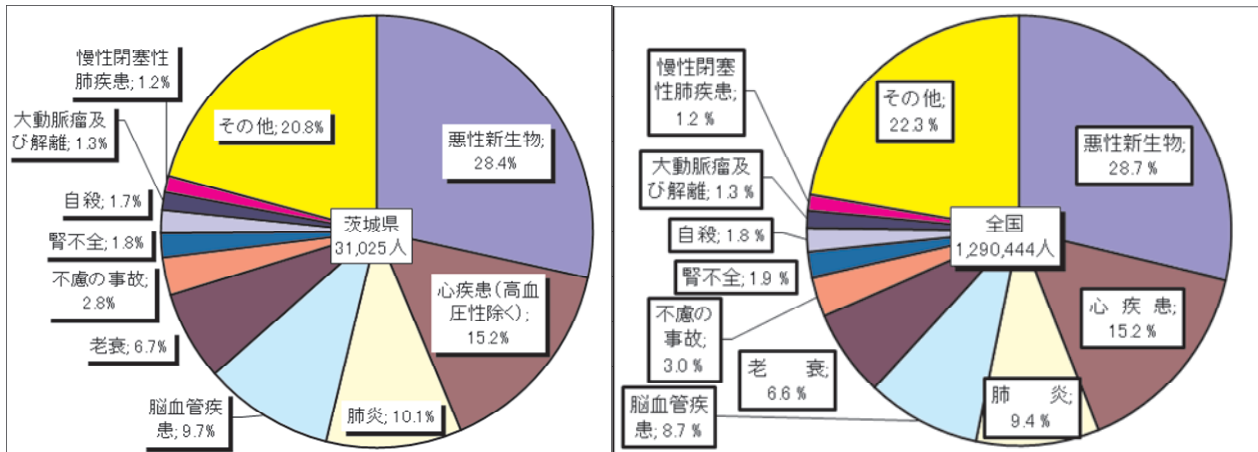


表 9 は年齢階級別の死因順位であるが、年齢特有の死因がわかる。

0～4歳では、循環器系の先天奇形が第1位となっている。また、5～14歳の年齢層においては悪性新生物が多く、死亡者に対する割合が大きい。15～39歳は自殺、40～89歳は悪性新生物、90歳～94歳では心疾患、95歳以上では老衰が第1位となっている。

表9 年齢階級別死因順位及び死亡数

| 年齢階級別 | 死亡総数 | 第1位 | | 第2位 | | 第3位 | | 第4位 | | 第5位 | |
|--------|--------|-------------|-------|---------------------|-------|---|-------|-------------------|-------|-------------------------------------|-------|
| 総数 | 31,025 | 悪性新生物 | 8,823 | 心疾患（高血圧性除く） | 4,719 | 肺炎 | 3,145 | 脳血管疾患 | 3,021 | 老衰 | 2,085 |
| 一年齢階級 | | | | | | | | | | | |
| 0～4 | 65 | 循環器系の先天奇形 | 10 | 周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害 | 9 | (同2位) その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 9 | 染色体異常, 他に分類されないもの | 7 | | |
| 5～9 | 12 | 悪性新生物 | 3 | | | | | | | | |
| 10～14 | 21 | 悪性新生物 | 7 | 脳血管疾患 | 2 | (同2位) 神経系の先天奇形 | 2 | (同2位) 不慮の事故 | 2 | (同2位) 自殺 | 2 |
| 15～19 | 35 | 自殺 | 17 | 不慮の事故 | 6 | 悪性新生物 | 4 | その他の外因 | 3 | その他の新生物 | 2 |
| 20～24 | 65 | 自殺 | 32 | 不慮の事故 | 14 | 悪性新生物 | 6 | 心疾患（高血圧性除く） | 4 | 肺炎 | 3 |
| 25～29 | 75 | 自殺 | 40 | 悪性新生物 | 10 | (同2位) 不慮の事故 | 10 | その他の神経系の疾患 | 3 | (同4位) 心疾患（高血圧性除く） | 3 |
| 30～34 | 82 | 自殺 | 30 | 悪性新生物 | 21 | 不慮の事故 | 9 | その他の神経系の疾患 | 5 | その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 4 |
| 35～39 | 140 | 自殺 | 38 | 悪性新生物 | 36 | 不慮の事故 | 13 | 心疾患（高血圧性除く） | 10 | その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 8 |
| 40～44 | 248 | 悪性新生物 | 63 | 自殺 | 49 | 心疾患（高血圧性除く） | 28 | (同3位) 脳血管疾患 | 28 | | |
| 45～49 | 331 | 悪性新生物 | 104 | 心疾患（高血圧性除く） | 47 | 自殺 | 36 | 脳血管疾患 | 29 | その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 23 |
| 50～54 | 481 | 悪性新生物 | 186 | 心疾患（高血圧性除く） | 61 | 脳血管疾患 | 55 | 自殺 | 35 | 不慮の事故 | 23 |
| 55～59 | 807 | 悪性新生物 | 376 | 心疾患（高血圧性除く） | 99 | 脳血管疾患 | 69 | 自殺 | 37 | 肝疾患 | 32 |
| 60～64 | 1,372 | 悪性新生物 | 676 | 心疾患（高血圧性除く） | 159 | 脳血管疾患 | 106 | 肺炎 | 55 | 不慮の事故 | 43 |
| 65～69 | 2,245 | 悪性新生物 | 1,091 | 心疾患（高血圧性除く） | 259 | 脳血管疾患 | 195 | 肺炎 | 97 | その他の呼吸器系の疾患 | 63 |
| 70～74 | 2,863 | 悪性新生物 | 1,237 | 心疾患（高血圧性除く） | 358 | 脳血管疾患 | 250 | 肺炎 | 162 | その他の呼吸器系の疾患 | 118 |
| 75～79 | 3,642 | 悪性新生物 | 1,361 | 心疾患（高血圧性除く） | 467 | 脳血管疾患 | 345 | 肺炎 | 299 | その他の呼吸器系の疾患 | 168 |
| 80～84 | 5,026 | 悪性新生物 | 1,463 | 心疾患（高血圧性除く） | 746 | 肺炎 | 561 | 脳血管疾患 | 528 | その他の呼吸器系の疾患 | 239 |
| 85～89 | 6,199 | 悪性新生物 | 1,317 | 心疾患（高血圧性除く） | 1,094 | 肺炎 | 825 | 脳血管疾患 | 666 | 老衰 | 472 |
| 90～94 | 4,719 | 心疾患（高血圧性除く） | 881 | 肺炎 | 711 | 老衰 | 680 | 悪性新生物 | 664 | 脳血管疾患 | 476 |
| 95～99 | 2,073 | 老衰 | 453 | 心疾患（高血圧性除く） | 404 | 肺炎 | 319 | 脳血管疾患 | 207 | 悪性新生物 | 175 |
| 100歳以上 | 524 | 老衰 | 175 | 心疾患（高血圧性除く） | 95 | 肺炎 | 69 | 脳血管疾患 | 53 | 悪性新生物 | 23 |
| 不詳 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |

(4) 年齢階級別死亡率

年齢階級別に死亡率をみたのが図5である。

年次推移でみると、全年齢階級とも死亡率が徐々に減少していることがわかる。特に乳児期及び老年期の死亡率の減少がみてとれる。(年齢階級別の死亡率は、国勢調査の5歳階級別人口を基に作成した。)

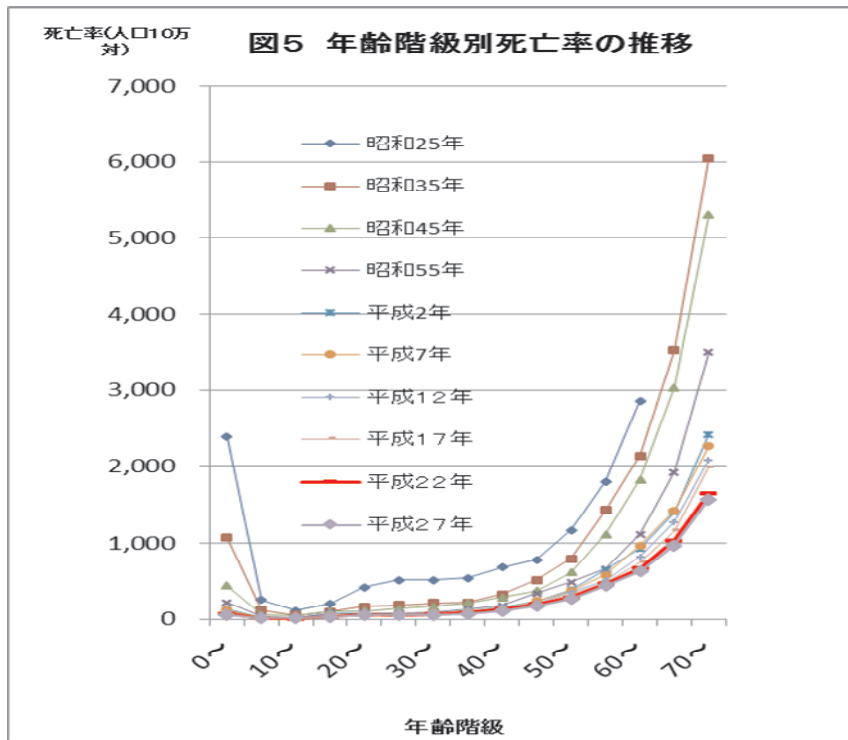


表10 悪性新生物の推移

ア 悪性新生物

平成27年の悪性新生物による死亡者数は8,823人、人口10万対死亡率306.8で都道府県中第24位である。死亡に占める割合は28.5%で死因順位の第1位である。

次に悪性新生物における部位別割合を示したのが表11である。気管、気管支及び肺が部位別割合で最も多く19.2%を占めている。2位には胃が13.4%で位置し、3位は結腸が10.3%となっており、前年に比べて、結腸、直腸S状結腸移行部及び直腸、膵等が増加し、食道、胃、肝及び肝内胆管等が減少している。

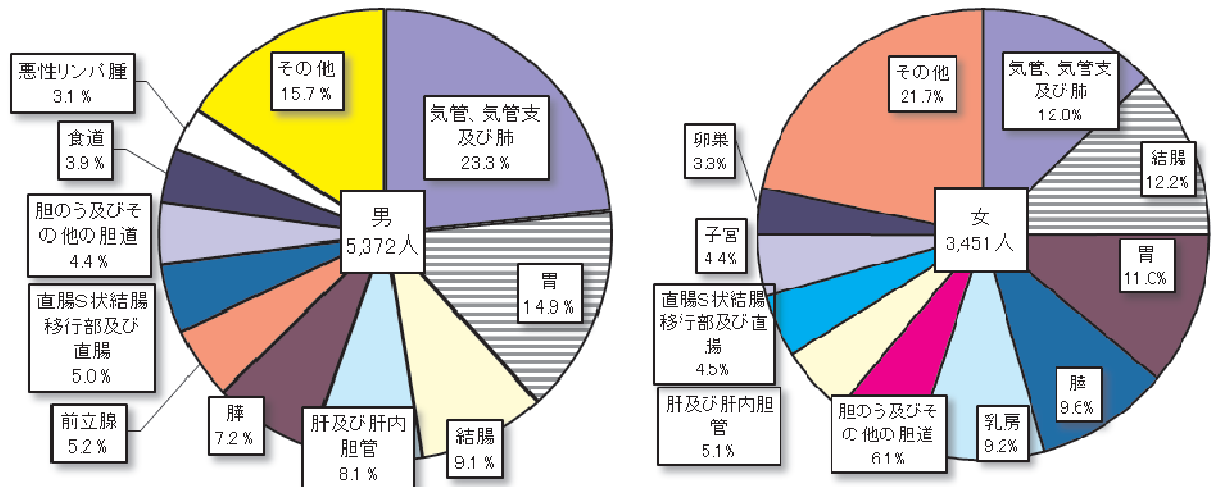
図6は男女別の部位別割合をみたものであるが、男性は1位が気管、気管支及び肺、2位が胃、3位は結腸である。女性は1位が気管、気管支及び肺、2位は結腸、3位は胃となっている。

| 年次 | 死亡数 | 死亡率 | 死亡率 (人口10万対) | |
|------|-------|-------|--------------|-------|
| | | | 対全死亡割合 % | 全国死亡率 |
| 昭 45 | 2,529 | 118.1 | 14.5 | 116.3 |
| 50 | 2,828 | 120.7 | 16.9 | 122.6 |
| 55 | 3,361 | 131.6 | 19.9 | 139.2 |
| 60 | 3,896 | 143.4 | 22.6 | 156.1 |
| 61 | 4,039 | 147.4 | 23.3 | 158.5 |
| 62 | 4,361 | 157.8 | 25.1 | 164.2 |
| 63 | 4,522 | 162.1 | 24.5 | 168.4 |
| 平 元 | 4,573 | 162.4 | 25.7 | 173.6 |
| 2 | 4,679 | 165.1 | 24.7 | 177.2 |
| 3 | 4,831 | 169.0 | 25.4 | 181.7 |
| 4 | 4,977 | 172.6 | 25.0 | 187.8 |
| 5 | 5,075 | 174.8 | 24.9 | 190.4 |
| 6 | 5,274 | 180.5 | 26.3 | 196.4 |
| 7 | 5,774 | 197.1 | 26.7 | 211.6 |
| 8 | 6,075 | 206.5 | 29.1 | 217.5 |
| 9 | 6,227 | 211.0 | 28.6 | 220.4 |
| 10 | 6,412 | 216.5 | 28.9 | 226.7 |
| 11 | 6,510 | 219.4 | 23.0 | 231.6 |
| 12 | 6,780 | 229.5 | 29.6 | 235.2 |
| 13 | 6,800 | 230.0 | 29.5 | 238.8 |
| 14 | 6,942 | 235.0 | 29.3 | 241.7 |
| 15 | 7,194 | 243.6 | 29.2 | 245.4 |
| 16 | 7,385 | 250.3 | 30.3 | 253.9 |
| 17 | 7,549 | 257.0 | 29.2 | 258.3 |
| 18 | 7,613 | 259.5 | 29.2 | 261.0 |
| 19 | 7,681 | 262.2 | 29.3 | 266.9 |
| 20 | 7,988 | 273.3 | 29.1 | 272.3 |
| 21 | 8,074 | 276.5 | 29.0 | 273.5 |
| 22 | 8,061 | 275.2 | 28.2 | 279.7 |
| 23 | 8,137 | 278.8 | 27.2 | 283.2 |
| 24 | 8,300 | 285.5 | 27.7 | 286.6 |
| 25 | 8,425 | 291.1 | 27.7 | 290.3 |
| 26 | 8,639 | 299.9 | 28.5 | 293.5 |
| 27 | 8,823 | 306.8 | 28.5 | 295.5 |

表11 悪性新生物部位別死亡数及び割合の推移

| | 昭 50 | 55 | 60 | 平 2 | 7 | 12 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 総 数 | 2,828 (100.0) | 3,361 (100.0) | 3,896 (100.0) | 4,679 (100.0) | 5,774 (100.0) | 6,780 (100.0) | 7,549 (100.0) | 7,613 (100.0) | 7,681 (100.0) | 7,988 (100.0) | 8,316 (100.0) | 8,061 (100.0) | 8,137 (100.0) | 8,300 (100.0) | 8,425 (100.0) | 8,639 (100.0) | 8,823 (100.0) |
| 食 道 | 129 (4.5) | 164 (4.9) | 177 (4.5) | 177 (3.8) | 179 (3.1) | 245 (3.6) | 269 (3.6) | 257 (3.4) | 248 (3.2) | 236 (3.1) | 236 (2.8) | 282 (3.5) | 267 (3.3) | 236 (2.8) | 247 (2.9) | 268 (3.1) | 257 (2.9) |
| 胃 | 1,097 (38.8) | 1,180 (35.1) | 1,178 (30.2) | 1,215 (26.0) | 1,185 (20.5) | 1,303 (19.2) | 1,295 (17.2) | 1,333 (17.5) | 1,278 (16.6) | 1,344 (16.4) | 1,360 (16.4) | 1,318 (16.4) | 1,244 (15.3) | 1,276 (15.4) | 1,255 (14.9) | 1,310 (15.2) | 1,183 (13.4) |
| 結 腸 | ... | ... | ... | ... | 466 (8.1) | 508 (7.5) | 575 (7.6) | 611 (8.0) | 621 (8.1) | 689 (8.6) | 658 (7.9) | 671 (8.3) | 717 (8.8) | 767 (9.2) | 766 (9.1) | 818 (9.5) | 910 (10.3) |
| 直腸S状結腸移行部 及び直腸 | ... | ... | ... | ... | 233 (4.0) | 276 (4.1) | 329 (4.4) | 339 (4.5) | 373 (4.9) | 351 (4.4) | 332 (4.0) | 332 (4.1) | 390 (4.8) | 376 (4.5) | 377 (4.5) | 389 (4.5) | 422 (4.8) |
| 肝及び肝内胆管 | ... | ... | ... | ... | 548 (9.5) | 687 (10.1) | 742 (9.8) | 675 (8.9) | 699 (9.1) | 692 (8.7) | 717 (8.6) | 708 (8.8) | 656 (8.1) | 624 (7.5) | 639 (7.6) | 654 (7.6) | 612 (6.9) |
| 胆のう及び その他の胆道 | ... | ... | ... | ... | 358 (6.2) | 382 (6.4) | 413 (6.8) | 453 (6.9) | 427 (6.8) | 448 (7.6) | 420 (7.7) | 402 (7.9) | 440 (7.8) | 463 (7.5) | 459 (8.0) | 470 (8.3) | 448 (7.8) |
| 膵 | 124 (4.4) | 164 (4.9) | 218 (5.6) | 288 (6.2) | 372 (6.4) | 451 (6.7) | 517 (6.8) | 526 (6.9) | 584 (7.6) | 612 (7.7) | 654 (7.9) | 632 (7.8) | 610 (7.5) | 661 (8.0) | 698 (8.3) | 674 (7.8) | 720 (8.2) |
| 気管、気管支 及び肺 | 285 (10.1) | 383 (11.4) | 551 (14.1) | 690 (14.7) | 915 (15.8) | 1,206 (17.8) | 1,372 (18.2) | 1,404 (18.4) | 1,374 (17.9) | 1,481 (18.5) | 1,466 (17.6) | 1,532 (19.0) | 1,485 (18.2) | 1,571 (18.9) | 1,621 (19.2) | 1,635 (18.9) | 1,695 (19.2) |
| 乳 房 | 69 (2.4) | 70 (2.1) | 87 (2.2) | 134 (2.9) | 174 (3.0) | 204 (3.0) | 250 (3.3) | 257 (3.4) | 247 (3.2) | 231 (2.9) | 260 (3.1) | 255 (3.2) | 271 (3.3) | 298 (3.6) | 290 (3.4) | 275 (3.2) | 326 (3.7) |
| 子 宮 | 121 (4.3) | 130 (3.9) | 98 (2.5) | 113 (2.4) | 133 (2.3) | 125 (1.8) | 140 (1.9) | 121 (1.6) | 136 (1.8) | 129 (1.6) | 138 (1.7) | 148 (1.8) | 141 (1.7) | 156 (1.9) | 149 (1.8) | 151 (1.7) | 153 (1.7) |
| 白 血 病 | 81 (2.9) | 78 (2.3) | 91 (2.3) | 118 (2.5) | 141 (2.4) | 146 (2.2) | 155 (2.1) | 150 (2.0) | 165 (2.1) | 163 (2.0) | 174 (2.1) | 166 (2.1) | 178 (2.2) | 166 (2.0) | 167 (2.0) | 169 (2.0) | 176 (2.0) |
| そ の 他 | 922 (32.5) | 1,192 (35.4) | 1,496 (38.6) | 1,944 (41.5) | 1,070 (18.7) | 1,247 (18.4) | 1,492 (19.8) | 1,487 (19.5) | 1,529 (19.9) | 1,597 (20.0) | 1,901 (22.9) | 1,615 (20.0) | 1,769 (21.7) | 1,706 (20.6) | 1,757 (20.9) | 1,826 (21.1) | 1,921 (21.8) |

図6 悪性新生物の部位別割合



イ 心疾患

平成27年の心疾患による死亡者数は4,719人、人口10万対死亡率は164.1で都道府県中第32位である。総死亡数に占める割合は15.2%となっていて、死因の第2位である。

表12 心疾患の推移

| | | | | | 死亡率（人口10万対） | | | | |
|-----|-------|-------|----------|-------|-------------|-------|-------|----------|-------|
| 年次 | 死亡数 | 死亡率 | 対全死亡割合 % | 全国死亡率 | 年次 | 死亡数 | 死亡率 | 対全死亡割合 % | 全国死亡率 |
| 昭55 | 2,779 | 108.8 | 16.5 | 106.3 | 平12 | 3,478 | 117.7 | 15.2 | 116.8 |
| 60 | 3,105 | 114.3 | 18.0 | 117.3 | 13 | 3,588 | 121.3 | 15.6 | 117.8 |
| 61 | 3,209 | 117.1 | 18.5 | 117.9 | 14 | 3,846 | 130.2 | 16.2 | 121.0 |
| 62 | 3,091 | 111.9 | 17.8 | 118.4 | 15 | 4,054 | 137.3 | 16.5 | 126.5 |
| 63 | 3,506 | 125.7 | 19.0 | 129.4 | 16 | 3,805 | 129.0 | 15.6 | 126.5 |
| 平元 | 3,374 | 119.8 | 18.9 | 128.1 | 17 | 4,231 | 144.0 | 16.4 | 137.2 |
| 2 | 3,600 | 127.0 | 19.0 | 134.8 | 18 | 4,287 | 146.1 | 16.4 | 137.2 |
| 3 | 3,747 | 131.1 | 19.7 | 137.2 | 19 | 4,211 | 143.8 | 16.0 | 139.2 |
| 4 | 4,058 | 140.8 | 20.4 | 142.2 | 20 | 4,357 | 149.1 | 15.9 | 144.4 |
| 5 | 4,147 | 142.8 | 20.4 | 145.6 | 21 | 4,394 | 150.5 | 15.8 | 143.7 |
| 6 | 3,581 | 122.6 | 17.8 | 128.6 | 22 | 4,397 | 150.1 | 15.4 | 149.8 |
| 7 | 3,338 | 114.0 | 15.4 | 112.0 | 23 | 4,844 | 165.9 | 16.2 | 154.5 |
| 8 | 3,160 | 107.4 | 15.1 | 110.8 | 24 | 4,963 | 170.7 | 16.5 | 157.9 |
| 9 | 3,352 | 113.6 | 15.4 | 112.2 | 25 | 4,755 | 164.3 | 15.7 | 156.5 |
| 10 | 3,414 | 115.3 | 15.4 | 114.3 | 26 | 4,762 | 165.3 | 15.7 | 157.0 |
| 11 | 3,667 | 123.6 | 15.7 | 120.4 | 27 | 4,719 | 164.1 | 15.2 | 156.5 |

ウ 肺炎

平成27年の本県の肺炎による死亡者数は3,145人、人口10万対の死亡率は109.4で都道府県中第20位となっている。一方、総死亡数に占める割合は10.1%を占め、死因の第3位である。

表13 肺炎の推移

| | | | | | 死亡率（人口10万対） | | | | |
|-----|-------|------|----------|-------|-------------|-------|-------|----------|-------|
| 年次 | 死亡数 | 死亡率 | 対全死亡割合 % | 全国死亡率 | 年次 | 死亡数 | 死亡率 | 対全死亡割合 % | 全国死亡率 |
| 昭55 | 639 | 25.0 | 3.8 | 28.4 | 平12 | 1,996 | 67.6 | 8.7 | 69.2 |
| 60 | 865 | 31.8 | 5.0 | 37.5 | 13 | 1,885 | 63.7 | 8.2 | 67.8 |
| 61 | 927 | 33.8 | 5.3 | 39.1 | 14 | 1,969 | 66.7 | 8.3 | 69.4 |
| 62 | 1,005 | 36.4 | 5.8 | 40.3 | 15 | 2,257 | 76.4 | 9.2 | 75.3 |
| 63 | 1,101 | 39.5 | 6.0 | 46.8 | 16 | 2,196 | 74.4 | 9.0 | 75.7 |
| 平元 | 1,165 | 41.4 | 6.5 | 48.1 | 17 | 2,501 | 85.1 | 9.7 | 85.0 |
| 2 | 1,408 | 49.7 | 7.4 | 55.6 | 18 | 2,558 | 87.2 | 9.8 | 85.0 |
| 3 | 1,494 | 52.3 | 7.8 | 56.9 | 19 | 2,518 | 86.0 | 9.6 | 87.4 |
| 4 | 1,547 | 53.7 | 7.8 | 60.2 | 20 | 2,839 | 97.1 | 10.3 | 91.6 |
| 5 | 1,623 | 55.9 | 8.0 | 65.5 | 21 | 2,805 | 96.1 | 10.1 | 89.0 |
| 6 | 1,684 | 57.6 | 8.4 | 67.2 | 22 | 2,980 | 101.7 | 10.4 | 94.1 |
| 7 | 1,686 | 57.6 | 7.8 | 64.1 | 23 | 3,280 | 112.4 | 11.0 | 98.9 |
| 8 | 1,412 | 48.0 | 6.8 | 56.9 | 24 | 3,089 | 106.3 | 10.3 | 98.4 |
| 9 | 1,650 | 55.9 | 7.6 | 63.1 | 25 | 3,108 | 107.4 | 10.2 | 97.8 |
| 10 | 1,743 | 58.9 | 7.9 | 63.8 | 26 | 3,035 | 105.3 | 10.0 | 95.4 |
| 11 | 2,121 | 71.5 | 9.1 | 74.9 | 27 | 3,145 | 109.4 | 10.1 | 96.5 |

エ 不慮の事故

平成27年の不慮の事故による死亡者数は879人、人口10万対死亡率は30.6で都道府県中第35位となっている。対全死亡数割合は2.8%を示し、第6位に位置している。

不慮の事故による死亡率は昭和46年の54.3をピークに減少を示し、昭和62年に28.9まで減少した後は再び増加した。その後、平成7年の39.8をピークに再び減少傾向にあったが、近年は横ばいである。

不慮の事故のうち交通事故による死亡者数は185人で、人口10万対死亡率6.4である。前年に比べると0.2ポイント減少しているが、全国と比べると依然として死亡率は高く、都道府県中第12位である。

表14 不慮の事故の推移

| 年次 | 死亡数 | 死亡率 | 死亡率 (人口10万対) | | 年次 | 死亡数 | 死亡率 | 死亡率 (人口10万対) | |
|------|-------|------|--------------|---------|-----|-------|------|--------------|---------|
| | | | 対全死亡割合 % | 全 国 死亡率 | | | | 対全死亡割合 % | 全 国 死亡率 |
| 昭 45 | 1,112 | 51.9 | 6.4 | 42.5 | 平13 | 1,065 | 36.0 | 4.6 | 31.4 |
| 50 | 936 | 40.0 | 5.6 | 30.7 | 14 | 1,099 | 37.2 | 4.6 | 30.7 |
| 55 | 827 | 32.4 | 4.9 | 25.1 | 15 | 1,067 | 36.1 | 4.3 | 30.7 |
| 平 元 | 920 | 32.7 | 5.1 | 25.4 | 16 | 987 | 33.5 | 4.0 | 30.3 |
| 2 | 915 | 32.3 | 4.8 | 26.2 | 17 | 1,091 | 37.1 | 4.2 | 31.6 |
| 3 | 969 | 33.9 | 5.1 | 26.9 | 18 | 1,013 | 34.5 | 3.9 | 30.3 |
| 4 | 1,033 | 35.8 | 5.2 | 28.1 | 19 | 938 | 32.0 | 3.6 | 30.1 |
| 5 | 1,080 | 37.2 | 5.3 | 28.0 | 20 | 1,047 | 35.8 | 3.8 | 30.3 |
| 6 | 1,006 | 34.4 | 5.0 | 29.1 | 21 | 1,030 | 35.3 | 3.7 | 30.0 |
| 7 | 1,116 | 39.8 | 5.4 | 36.5 | 22 | 1,047 | 35.7 | 3.6 | 32.2 |
| 8 | 1,089 | 37.0 | 5.2 | 31.4 | 23 | 1,035 | 35.5 | 3.5 | 47.1 |
| 9 | 1,122 | 38.0 | 5.1 | 31.1 | 24 | 957 | 32.9 | 3.2 | 32.6 |
| 10 | 1,034 | 34.9 | 4.7 | 31.1 | 25 | 1,009 | 34.9 | 3.3 | 31.5 |
| 11 | 1,121 | 37.8 | 4.8 | 32.0 | 26 | 868 | 30.1 | 2.9 | 31.1 |
| 12 | 1,076 | 36.4 | 4.7 | 31.4 | 27 | 879 | 30.6 | 2.8 | 30.6 |

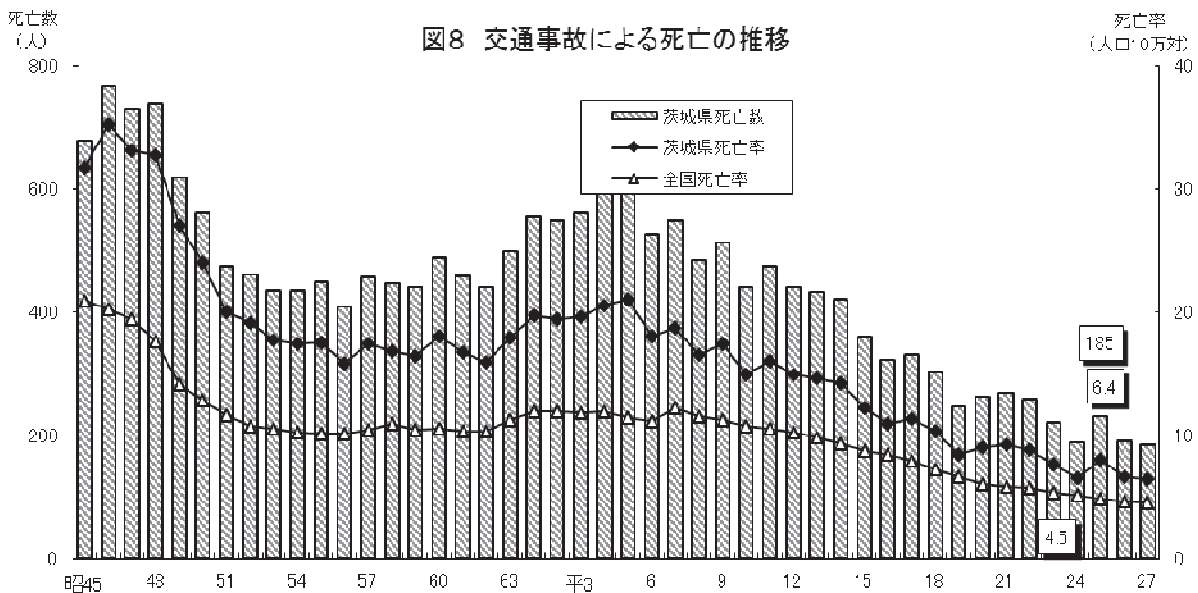
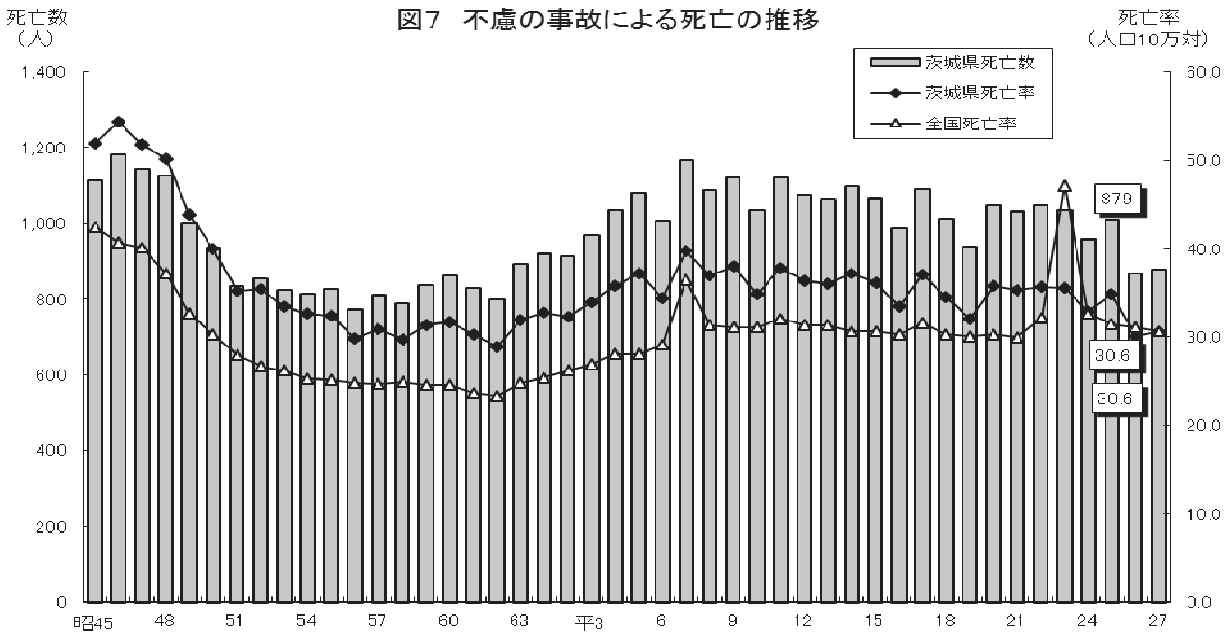


表15 交通事故による死亡の推移

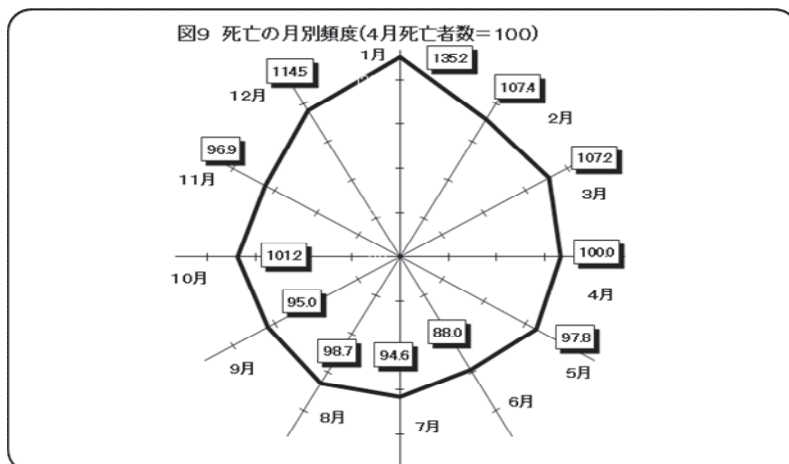
| 年次 | 死亡率 (人口10万対) | | | |
|------|--------------|------|--------|------|
| | 茨城県 | | 全国 | |
| | 死亡数 | 死亡率 | 死亡数 | 死亡率 |
| 昭 45 | 679 | 31.7 | 21,535 | 20.9 |
| 50 | 561 | 24.0 | 14,206 | 12.8 |
| 55 | 448 | 17.5 | 11,752 | 10.1 |
| 60 | 488 | 18.0 | 12,660 | 10.5 |
| 61 | 458 | 16.7 | 12,458 | 10.3 |
| 62 | 440 | 15.9 | 12,544 | 10.3 |
| 63 | 499 | 17.9 | 13,617 | 11.2 |
| 平 元 | 554 | 19.7 | 14,512 | 11.9 |
| 2 | 549 | 19.4 | 14,631 | 11.9 |
| 3 | 561 | 19.6 | 14,558 | 11.8 |
| 4 | 592 | 20.5 | 14,735 | 11.9 |
| 5 | 611 | 21.0 | 14,168 | 11.4 |
| 6 | 535 | 18.3 | 14,869 | 12.0 |
| 平 7 | 548 | 18.7 | 15,147 | 12.2 |
| 8 | 484 | 16.5 | 14,343 | 11.5 |
| 9 | 512 | 17.4 | 13,981 | 11.2 |
| 10 | 440 | 14.9 | 13,464 | 10.7 |
| 11 | 475 | 16.0 | 13,111 | 10.5 |
| 12 | 441 | 14.9 | 12,857 | 10.2 |
| 13 | 433 | 14.6 | 12,378 | 9.8 |
| 14 | 420 | 14.2 | 11,743 | 9.3 |
| 15 | 361 | 12.2 | 10,913 | 8.7 |
| 16 | 323 | 10.9 | 10,551 | 8.4 |
| 17 | 331 | 11.3 | 10,028 | 7.9 |
| 18 | 302 | 10.3 | 9,048 | 7.2 |
| 19 | 246 | 8.4 | 8,268 | 6.6 |
| 20 | 262 | 9.0 | 7,499 | 6.0 |
| 21 | 268 | 9.2 | 7,309 | 5.8 |
| 22 | 258 | 8.8 | 7,222 | 5.7 |
| 23 | 221 | 7.6 | 6,741 | 5.3 |
| 24 | 188 | 6.5 | 6,414 | 5.1 |
| 25 | 231 | 8.0 | 6,060 | 4.8 |
| 26 | 190 | 6.6 | 5,717 | 4.6 |
| 27 | 185 | 6.4 | 5,646 | 4.5 |

注：平成6年までは自動車事故による死亡者数及び死亡率。

平成6年の（ ）は、次以降と比較するために交通事故によるものを計上した。

(5) 死亡の季節変動

図9は死亡者数を月別に示したものである。この図が示すように4月の死亡数を100とすると夏季を中心としてその周辺の低率が目立ち、冬季に高率を示すのは脳血管疾患、心疾患の死亡が冬季に多いことによるものである。



(6) 妊産婦死亡

平成27年の本県の妊産婦死亡数は0である。妊産婦死亡率は妊産婦の保健水準を表す重要な指標である。

妊産婦死亡の推移をみると、昭和35年は124.8と高率を示したが、35年以降急激な下降を示したのは医療技術の進歩、妊産婦保健指導、衛生教育の充実、妊産婦健診の無料化等によるものと考えられる。

なお、平成27年の全国の妊産婦死亡数は39人で、妊産婦死亡率は3.8である。

表16 妊産婦死亡数及び妊産婦死亡率の推移

| 年次 | 妊産婦死亡数(人) | | 妊産婦死亡率※ | | 年次 | 妊産婦死亡数(人) | | 妊産婦死亡率※ | |
|------|-----------|-------|---------|------|------|-----------|----|---------|-----|
| | 茨城県 | 全国 | 茨城県 | 全国 | | 茨城県 | 全国 | 茨城県 | 全国 |
| 昭 45 | 22 | 1,008 | 53.7 | 48.7 | 平 11 | 1 | 72 | 3.4 | 5.9 |
| 50 | 14 | 541 | 33.1 | 27.0 | 12 | 3 | 78 | 10.3 | 6.3 |
| 55 | 8 | 323 | 21.2 | 19.5 | 13 | 1 | 76 | 3.5 | 6.3 |
| 60 | 5 | 226 | 14.3 | 15.1 | 14 | 2 | 84 | 7.1 | 7.1 |
| 61 | 6 | 187 | 17.7 | 12.9 | 15 | 4 | 69 | 14.6 | 6.0 |
| 62 | 7 | 162 | 20.4 | 11.5 | 16 | - | 49 | - | 4.3 |
| 63 | 4 | 126 | 12.6 | 9.2 | 17 | 2 | 62 | 8.0 | 5.7 |
| 平 元 | 4 | 135 | 13.2 | 10.4 | 18 | - | 54 | - | 4.8 |
| 2 | 1 | 105 | 3.3 | 8.2 | 19 | - | 35 | - | 3.1 |
| 3 | 2 | 110 | 6.6 | 8.6 | 20 | - | 39 | - | 3.5 |
| 4 | 1 | 111 | 3.3 | 8.8 | 21 | - | 53 | - | 6.3 |
| 5 | 5 | 91 | 17.0 | 7.4 | 22 | - | 45 | - | 4.1 |
| 6 | 3 | 76 | 9.8 | 5.9 | 23 | - | 41 | - | 3.8 |
| 7 | 3 | 85 | 10.3 | 6.9 | 24 | - | 42 | - | 4.0 |
| 8 | 2 | 72 | 6.7 | 5.8 | 25 | 2 | 36 | 8.7 | 3.4 |
| 9 | - | 78 | - | 6.3 | 26 | 2 | 28 | 8.9 | 2.7 |
| 10 | 4 | 86 | 13.5 | 6.9 | 27 | - | 39 | - | 3.8 |

※出産（出生＋死産）10万対

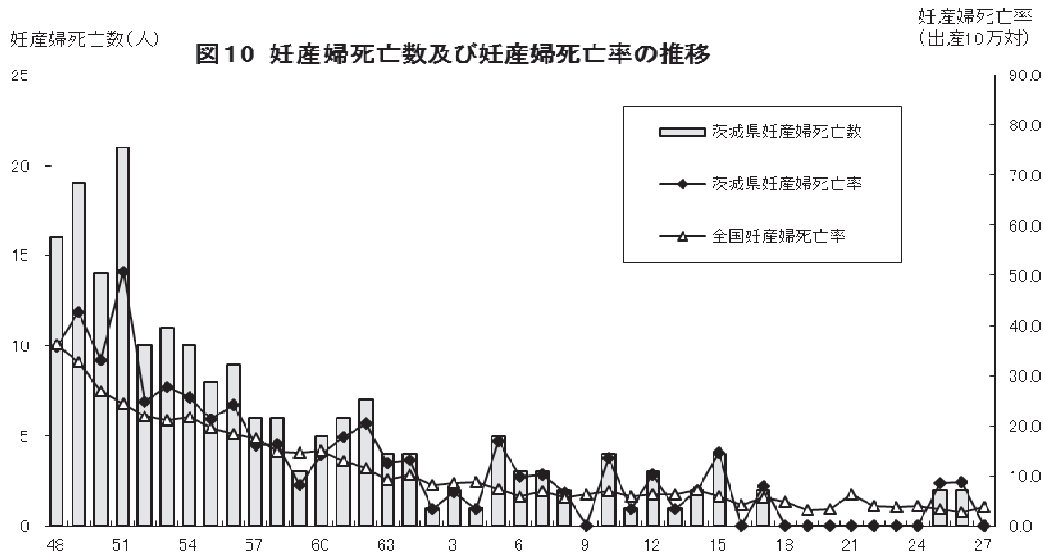


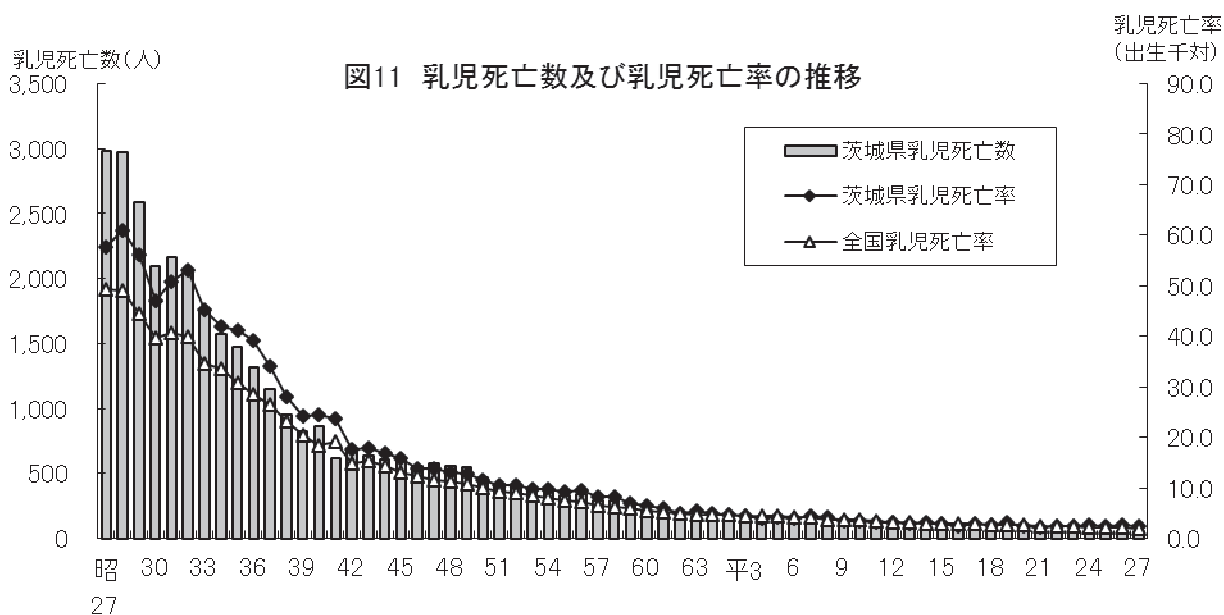
図10 妊産婦死亡数及び妊産婦死亡率の推移

4 乳児死亡

(1) 乳児死亡の推移

生後1年未満の死亡を乳児死亡といい、通常は出生千対の乳児死亡率で観察する。乳児の生存は、母体の健康状態、養育条件等の影響を強く受けるので、乳児死亡率はその地域の衛生状態の良否、ひいては生活水準を反映する指標のひとつと考えられている。

本県の乳児死亡の推移を表したものが図11である。昭和27年には乳児死亡数2,983人、乳児死亡率57.7であったものが急激に減少し、38年には1,000人を割った。その後も減少は続き、平成27年の乳児死亡数は53人であった。なお、乳児死亡率は2.4で、都道府県中第6位である。



(2) 地域別乳児死亡

平成27年の乳児死亡率を地域別にみると較差がある。事例数が必ずしも多くないので比較が難しいが、保健所ごとにみると表17のとおりである。

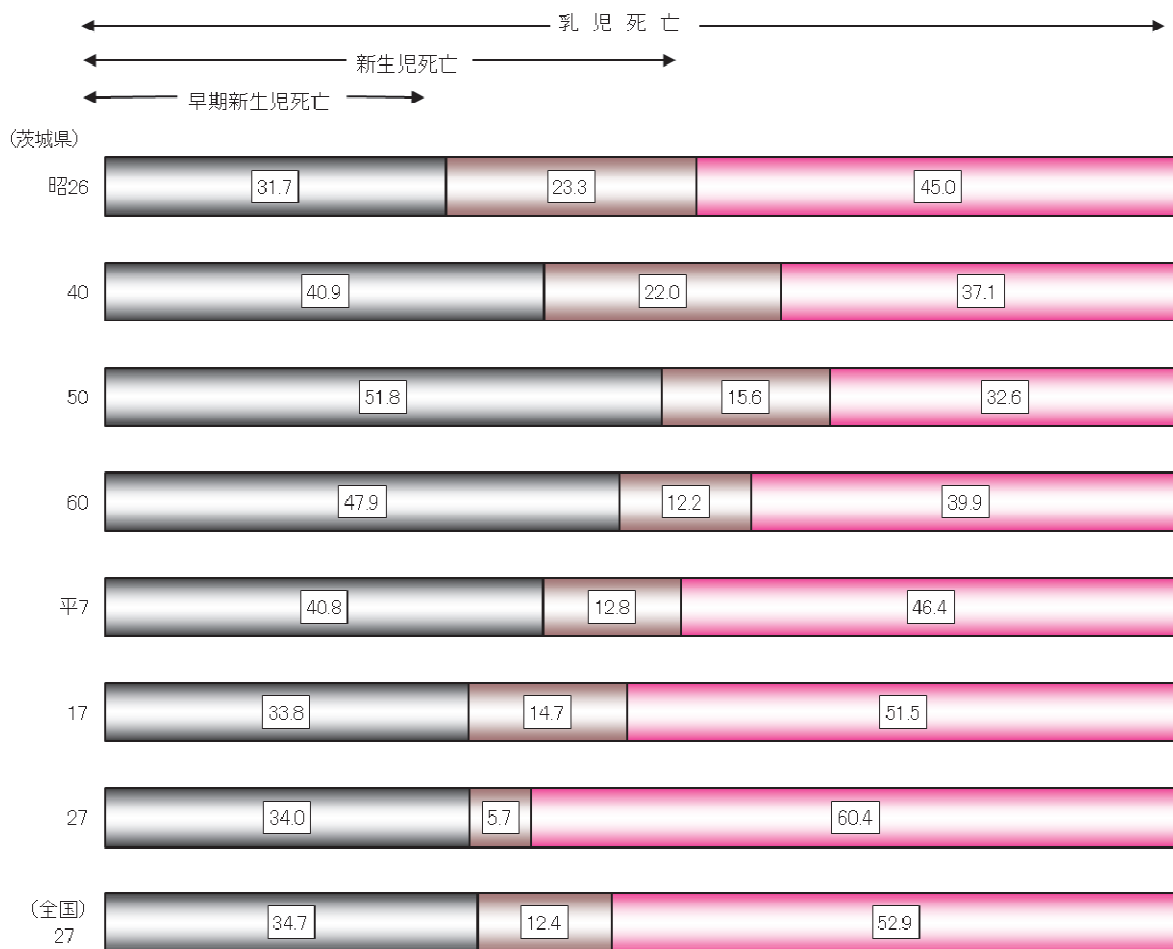
表17 保健所管内別乳児死亡数・率

| 保健所 | | 乳児死亡数 | 乳児死亡率 | 乳児死亡率（出生千対） | |
|------|-------|-------|-------|-------------|-------|
| 保健所 | 乳児死亡数 | 乳児死亡率 | 保健所 | 乳児死亡数 | 乳児死亡率 |
| 水戸 | 7 | 1.9 | 土浦 | 8 | 3.4 |
| 常陸大宮 | 2 | 2.1 | 筑西 | 5 | 3.6 |
| 日立 | 7 | 4.4 | 常総 | 2 | 1.6 |
| 鉾田 | 3 | 6.3 | 古河 | 1 | 0.8 |
| 潮来 | - | - | つくば | 9 | 3.3 |
| 竜ヶ崎 | 4 | 1.4 | ひたちなか | 5 | 3.1 |
| | | | 計 | 53 | 2.4 |

(3) 生存期間と乳児死亡

乳児死亡の原因は先天的なものと後天的なものに大きく分けられる。生後しばらくの間は環境に対する適応性が弱く、また、妊娠、分娩からの影響もあり不安定な時期であって、生存期間4週未満の新生児死亡、特に生存期間1週未満の早期新生児死亡は先天的な要因によることが多い。このような乳児死亡の構造を把握するうえで生存期間による観察が重要とされている。図12の生存期間別乳児死亡の割合によって年次推移をみると、昭和26年には4週以上のものが45.0%であったが逐次その割合が減少し、50年には32.6%であったが、60年には39.9%まで上昇した。なお、平成27年には39.7%となっている。

図12 生存期間別乳児死亡数の割合



5 死 産

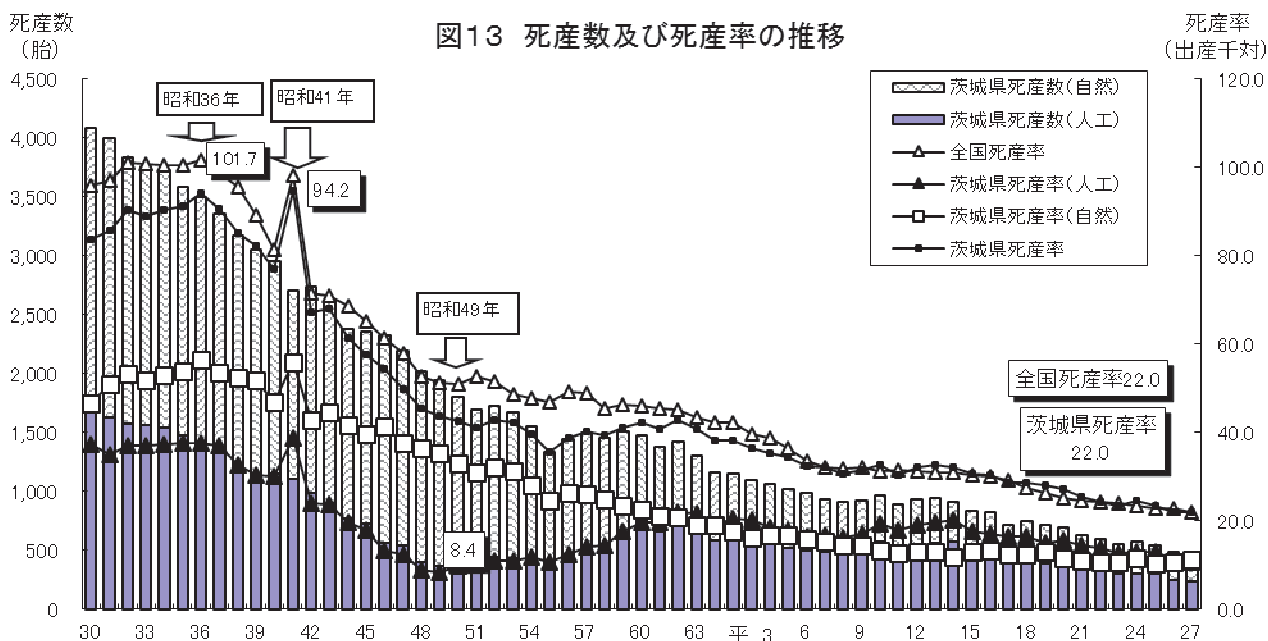
(1) 死産の推移

人口動態統計でいう死産とは、「死産の届出に関する規定」により届け出られる妊娠満12週(第4月)以後の死児の出産である。昭和23年に施行された「優生保護法」による人工妊娠中絶のうち妊娠満12週以後のものも含まれる。24年からは人工妊娠中絶の理由に「経済的な理由により母体の健康を著しく害するおそれがあるもの」も含まれることになった。また、43年から「胎児を出生させる目的で人工的処理を加えたにもかかわらず死産した場合」には、従来人工死産であったが自然死産として取り扱うことになった。

なお、平成8年に「優生保護法」は「母体保護法」に改正され、優生思想に基づく規定が削除された。

図13は死産の推移を表したものである。本県の死産率は昭和36年94.2から41年の特異現象（「ひのえうま」の年にあたる。）を除けば、55年の35.5まで急激に減少した。56年から62年まで緩やかに上昇したが、その後は減少傾向に転じた。平成27年の死産率は出産（出生＋死産）千対22.0で全国平均と同じ値であり、都道府県中第22位である。

なお、自然死産率は一貫して減少傾向を示しているが、人工死産率については昭和49年に8.4と最低の死産率を記録してから上昇、近年は横ばいとなっている。



(2) 妊娠期間別死産

妊娠期間別に死産数および死産割合を示したのが表18である。自然死産は一般に妊娠初期に多発し、その後比較的安定し、分娩近くなるとまた増加するものとされている。また、人工死産は、本来妊娠初期に多いものとされている。妊娠満22週以後の死産を後期死産といい、母体外で生存可能なはずの胎児死亡という観点から母体衛生上とくに重要視されている。

表18 妊娠期間別死産数・百分率

| | 総数 | 12週～15週 | 16週～19週 | 20週～23週 | 24週～27週 | 28週～31週 | 32週～35週 | 36週～39週 | 40週～ | 不詳 |
|------|----------------|---------------|---------------|--------------|-------------|------------|------------|-------------|------------|------------|
| 総数 | 489 (100.0) | 183 (37.4) | 160 (32.7) | 92 (18.8) | 17 (3.5) | 6 (1.2) | 6 (1.2) | 19 (3.9) | 6 (1.2) | - (0.0) |
| 自然死産 | 249 (100.0) | 63 (25.3) | 86 (34.5) | 46 (18.5) | 17 (6.8) | 6 (2.4) | 6 (2.4) | 19 (7.6) | 6 (2.4) | - (0.0) |
| 人工死産 | 240 (100.0) | 120 (50.0) | 74 (30.8) | 46 (19.2) | - (0.0) | - (0.0) | - (0.0) | - (0.0) | - (0.0) | - (0.0) |

下段()書は、百分率。

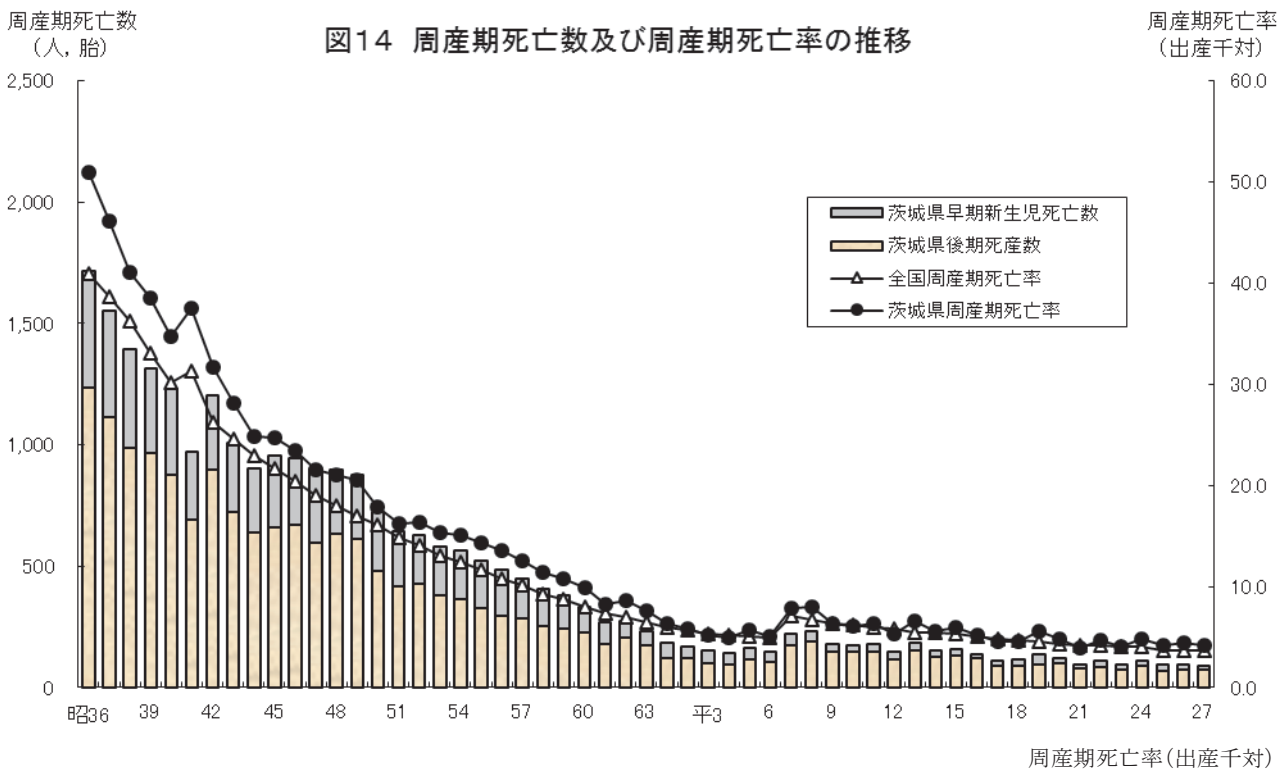
6 周産期死亡

周産期死亡とは、^{※1}妊娠満22週以後の死産と生後1週未満の早期新生児死亡をあわせたものをいい、通常、^{※2}出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千に対する死亡率で観察する。これは1950年以來、WHO（世界保健機関）によって提唱されてきたもので、後期死産と早期新生児死亡とを「出生をめぐる死亡」すなわち「周産期死亡」として総合的に観察したものであり、母子衛生上の重要な指標のひとつである。

本県の周産期死亡率は図14にみられるように年々低下しているが、平成27年は4.2で全国を0.5ポイント上回り、都道府県中第13位である。保健所別にみると表19に示すとおりである。

※1 平成6年以前は、妊娠満28週以後の死産

※2 平成6年以前は、出生千対



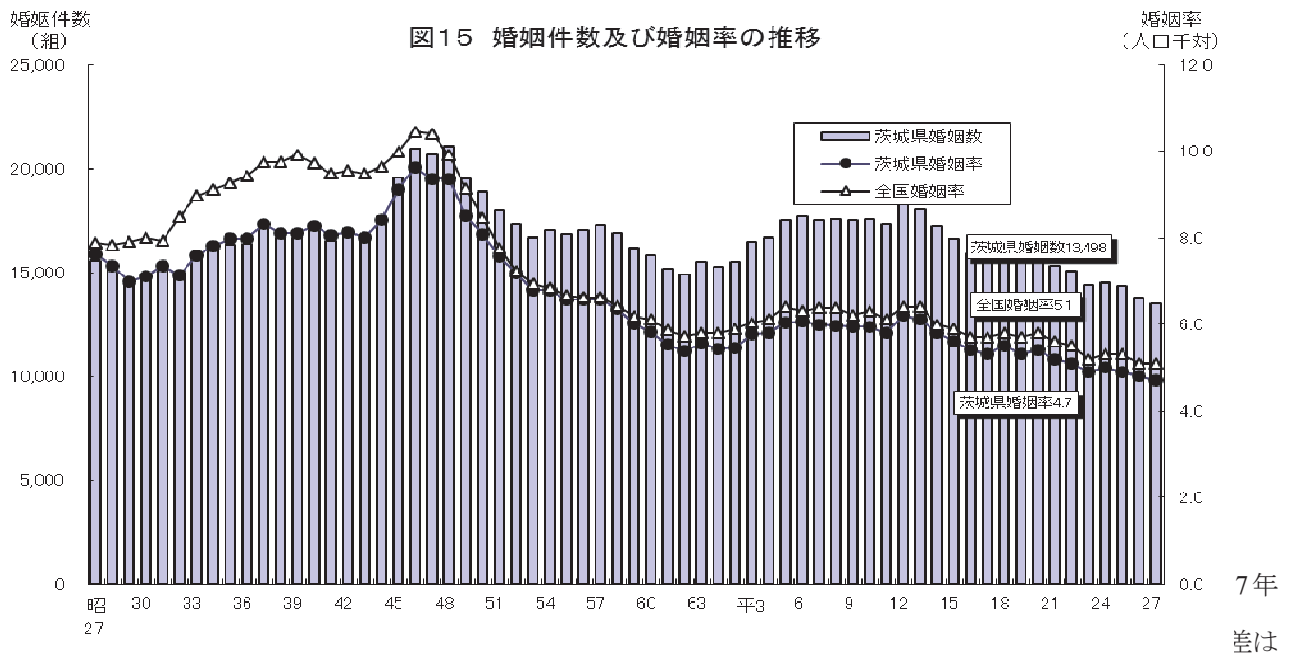
| | | | | 周産期死亡率(出産千対) | | | |
|------|-------------|---------|--------|--------------|-------------|---------|--------|
| 保健所 | 妊娠満22週以後の死産 | 早期新生児死亡 | 周産期死亡率 | 保健所 | 妊娠満22週以後の死産 | 早期新生児死亡 | 周産期死亡率 |
| 総数 | 73 | 18 | 4.2 | | | | |
| 水戸 | 11 | 2 | 3.5 | 土浦 | 12 | 3 | 6.4 |
| 常陸大宮 | 6 | - | 6.4 | 筑西 | 6 | 3 | 6.5 |
| 日立 | 4 | 1 | 3.2 | 常総 | - | - | - |
| 鉾田 | 1 | 3 | 8.4 | 古河 | 5 | - | 4.0 |
| 潮来 | 4 | - | 2.4 | つくば | 10 | 5 | 5.4 |
| 竜ヶ崎 | 8 | 1 | 3.2 | ひたちなか | 6 | - | 3.7 |

7 婚姻

婚姻率は人口千人に対する割合によって観察する。図15は本県の婚姻の推移である。戦前は7～8台で推移

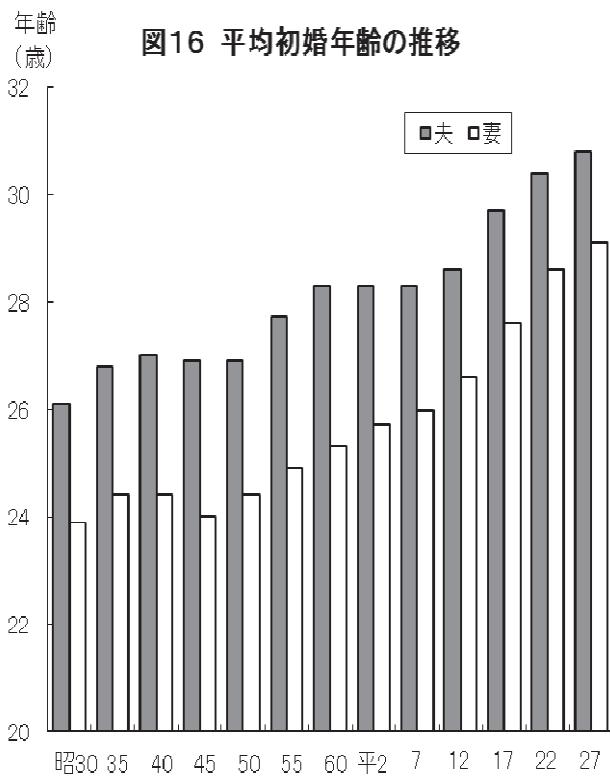
したが、戦後の昭和22年に11.0と高率を示した。これは海外引揚等による結婚適齢人口の移動によるものと考えられる。その後30年代は再び7～8と沈静したが昭和45年から48年に高水準が続いたのは、戦後のベビーブーム期に出生した人々が結婚期に入ったことによるものである。近年は、比較的横ばいで推移している。

平成27年の婚姻件数は13,498件で婚姻率は4.7となり、全国を0.4ポイント下回り、都道府県中第22位である。



1.7歳となっている。

表20 平均初婚年齢の推移



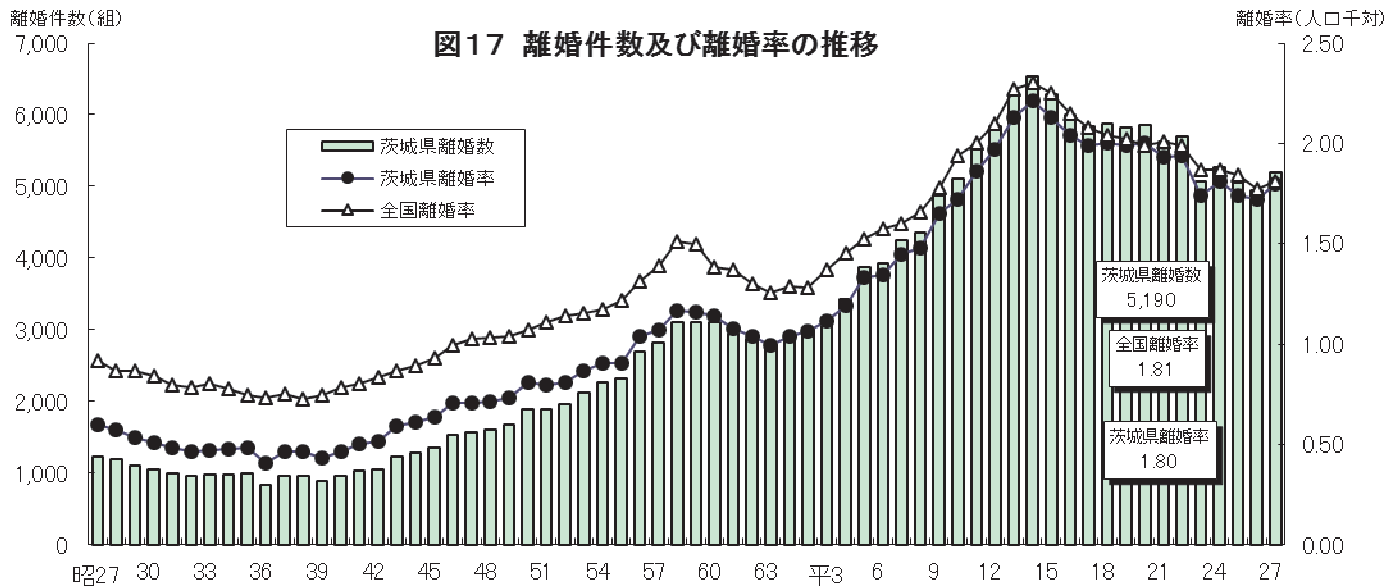
| 年次 | 茨城県 | | 全国 | |
|------|------|------|------|------|
| | 初婚の夫 | 初婚の妻 | 初婚の夫 | 初婚の妻 |
| 昭 55 | 27.7 | 24.9 | 27.8 | 25.2 |
| 60 | 28.1 | 25.3 | 28.2 | 25.5 |
| 61 | 28.1 | 25.4 | 28.3 | 25.6 |
| 62 | 28.2 | 25.5 | 28.4 | 25.7 |
| 63 | 28.3 | 25.6 | 28.4 | 25.8 |
| 平 元 | 28.3 | 25.6 | 28.5 | 25.8 |
| 2 | 28.3 | 25.7 | 28.4 | 25.9 |
| 3 | 28.3 | 25.7 | 28.4 | 25.9 |
| 4 | 28.2 | 25.7 | 28.4 | 26.0 |
| 5 | 28.3 | 25.8 | 28.4 | 26.1 |
| 6 | 28.4 | 25.9 | 28.5 | 26.2 |
| 7 | 28.3 | 26.0 | 28.5 | 26.3 |
| 8 | 28.4 | 26.1 | 28.5 | 26.4 |
| 9 | 28.3 | 26.2 | 28.5 | 26.6 |
| 10 | 28.4 | 26.4 | 28.6 | 26.7 |
| 11 | 28.5 | 26.5 | 28.7 | 26.8 |
| 12 | 28.6 | 26.6 | 28.8 | 27.0 |
| 13 | 28.8 | 26.8 | 29.0 | 27.2 |
| 14 | 29.0 | 27.0 | 29.1 | 27.4 |
| 15 | 29.3 | 27.3 | 29.4 | 27.6 |
| 16 | 29.4 | 27.4 | 29.6 | 27.8 |
| 17 | 29.7 | 27.6 | 29.8 | 28.0 |
| 18 | 29.8 | 27.7 | 30.0 | 28.2 |
| 19 | 29.9 | 27.8 | 30.1 | 28.3 |
| 20 | 30.1 | 28.1 | 30.2 | 28.5 |
| 21 | 30.2 | 28.2 | 30.4 | 28.6 |
| 22 | 30.4 | 28.5 | 30.5 | 28.8 |
| 23 | 30.6 | 28.6 | 30.7 | 29.0 |
| 24 | 30.6 | 28.8 | 30.8 | 29.2 |
| 25 | 30.7 | 28.9 | 30.9 | 29.3 |
| 26 | 30.8 | 29.0 | 31.1 | 29.4 |
| 27 | 30.8 | 29.1 | 31.1 | 29.4 |

8 離 婚

離婚率は人口千人に対する離婚件数の割合によって表し、図17は本県の離婚の推移である。戦後の一時期、

戦前に比べるとかなりの高水準であったが、その後減少傾向を示していた。しかし、昭和40年以降上昇傾向に転じ58年には1.17を記録した。59年から63年の1.00まで前年の離婚率を下回っていたが、平成元年には増加に転じ以降急激に上昇している。しかし、平成14年6,534件をピークに減少に転じ、近年は横ばいである。

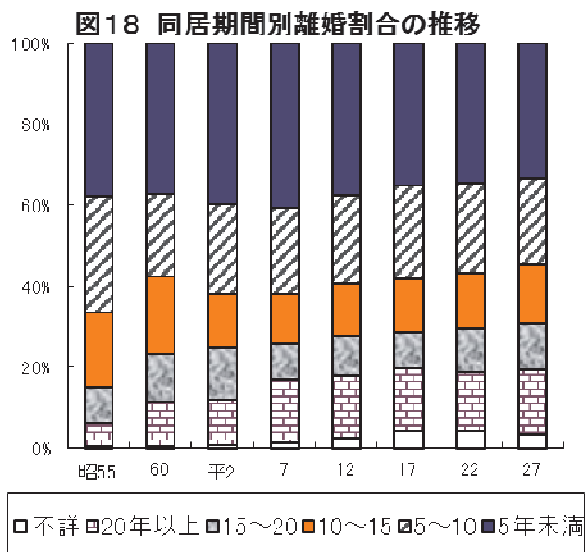
平成27年の離婚件数は5,190件で、離婚率は1.80となり、全国を0.01ポイント下回り都道府県中第13位である。



次に同居期間別離婚件数を表したものが表21である。本県の場合は同居期間5年未満の離婚が最も多くなっている。また、図18を見ると、同居期間別離婚割合の推移は、近年、横ばいである。

表21 離婚件数・種類・同居期間

| 同居期間 | 総数 | 協議 | 調停 | 審判 | 判決 | 和解 | 認諾 |
|---------|-------|-------|-----|----|----|----|----|
| 総 数 | 5,190 | 4,524 | 514 | 8 | 52 | 92 | - |
| 5年未満 | 1,742 | 1,539 | 161 | 4 | 18 | 20 | - |
| 1年未満 | 325 | 285 | 30 | 1 | 5 | 4 | - |
| 1~2 | 404 | 361 | 39 | 1 | 2 | 1 | - |
| 2~3 | 371 | 335 | 31 | - | 2 | 3 | - |
| 3~4 | 357 | 304 | 35 | 1 | 7 | 10 | - |
| 4~5 | 285 | 254 | 26 | 1 | 2 | 2 | - |
| 5 ~ 10 | 1,104 | 979 | 102 | 1 | 11 | 11 | - |
| 10 ~ 15 | 743 | 637 | 75 | 1 | 11 | 19 | - |
| 15 ~ 20 | 589 | 501 | 73 | 1 | 3 | 11 | - |
| 20年以上 | 842 | 729 | 78 | - | 8 | 27 | - |
| 20~25 | 394 | 344 | 37 | - | 5 | 8 | - |
| 25~30 | 189 | 165 | 17 | - | - | 7 | - |
| 30~35 | 123 | 105 | 13 | - | - | 5 | - |
| 35年以上 | 136 | 115 | 11 | - | 3 | 7 | - |
| 不 詳 | 170 | 139 | 25 | 1 | 1 | 4 | - |



離婚の種類別割合を表22によってみると、わが国の制度においては法律上の許可を必要とせずに、夫婦間の協議によって届出を行うだけで、離婚が成立することになっているため、協議離婚がきわめて多く、届出件数の約9割を占めている。

表22 離婚の種類別件数及び割合の推移

| 年次 | 総数 | | 協議 | | 調停 | | 審判 | | 判決 | | 和解 | | 認諾 | |
|------|-------|-------|-------|------|-----|------|----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|
| | 数 | 割合 | 数 | 割合 | 数 | 割合 | 数 | 割合 | 数 | 割合 | 数 | 割合 | 数 | 割合 |
| 昭 45 | 1,358 | 100.0 | 1,172 | 86.3 | 161 | 11.8 | 1 | 0.1 | 24 | 1.8 | | | | |
| 50 | 1,888 | 100.0 | 1,668 | 88.3 | 199 | 10.5 | 1 | 0.1 | 20 | 1.1 | | | | |
| 55 | 2,315 | 100.0 | 2,030 | 87.7 | 230 | 9.9 | 2 | 0.1 | 53 | 2.3 | | | | |
| 60 | 3,102 | 100.0 | 2,783 | 89.7 | 283 | 9.1 | 2 | 0.1 | 34 | 1.1 | | | | |
| 平 元 | 2,932 | 100.0 | 2,603 | 88.8 | 290 | 9.9 | 1 | 0.0 | 38 | 1.3 | | | | |
| 2 | 3,014 | 100.0 | 2,651 | 87.9 | 326 | 10.8 | 2 | 0.1 | 35 | 1.2 | | | | |
| 3 | 3,182 | 100.0 | 2,798 | 87.9 | 328 | 10.3 | 3 | 0.1 | 53 | 1.7 | | | | |
| 4 | 3,430 | 100.0 | 3,041 | 88.7 | 352 | 10.3 | 2 | 0.1 | 35 | 1.0 | | | | |
| 5 | 3,872 | 100.0 | 3,456 | 89.3 | 394 | 10.2 | 1 | 0.0 | 21 | 0.5 | | | | |
| 6 | 3,923 | 100.0 | 3,478 | 88.7 | 396 | 10.1 | 4 | 0.1 | 45 | 1.1 | | | | |
| 7 | 4,249 | 100.0 | 3,763 | 88.6 | 436 | 10.2 | 3 | 0.1 | 47 | 1.1 | | | | |
| 8 | 4,354 | 100.0 | 3,864 | 88.8 | 428 | 9.8 | 4 | 0.1 | 58 | 1.3 | | | | |
| 9 | 4,881 | 100.0 | 4,351 | 89.2 | 479 | 9.8 | 2 | 0.0 | 49 | 1.0 | | | | |
| 10 | 5,099 | 100.0 | 4,610 | 90.4 | 430 | 8.4 | - | - | 59 | 1.2 | | | | |
| 11 | 5,518 | 100.0 | 4,978 | 90.2 | 496 | 9.0 | - | - | 44 | 0.8 | | | | |
| 12 | 5,834 | 100.0 | 5,295 | 90.8 | 471 | 8.1 | 2 | 0.0 | 66 | 1.1 | | | | |
| 13 | 6,301 | 100.0 | 5,734 | 91.0 | 513 | 8.1 | 4 | 0.1 | 50 | 0.8 | | | | |
| 14 | 6,534 | 100.0 | 5,866 | 89.8 | 619 | 9.5 | 2 | 0.0 | 47 | 0.7 | | | | |
| 15 | 6,285 | 100.0 | 5,637 | 89.7 | 583 | 9.3 | 4 | 0.1 | 61 | 1.0 | | | | |
| 16 | 6,026 | 100.0 | 5,287 | 87.7 | 629 | 10.4 | 12 | 0.2 | 54 | 0.9 | 22 | 0.4 | 22 | 0.4 |
| 17 | 5,870 | 100.0 | 5,133 | 87.4 | 588 | 10.0 | 6 | 0.1 | 69 | 1.2 | 37 | 0.6 | 37 | 0.6 |
| 18 | 5,938 | 100.0 | 5,142 | 86.6 | 605 | 10.2 | - | - | 69 | 1.2 | 61 | 1.0 | 61 | 1.0 |
| 19 | 5,890 | 100.0 | 5,097 | 86.5 | 592 | 10.1 | 5 | 0.1 | 64 | 1.1 | 66 | 1.1 | 66 | 1.1 |
| 20 | 5,929 | 100.0 | 5,095 | 85.9 | 628 | 10.6 | - | - | 54 | 0.9 | 76 | 1.3 | 76 | 1.3 |
| 21 | 5,627 | 100.0 | 4,933 | 87.7 | 556 | 9.9 | - | - | 66 | 1.2 | 71 | 1.3 | 1 | 0.0 |
| 22 | 5,693 | 100.0 | 4,983 | 87.5 | 584 | 10.3 | 1 | 0.0 | 56 | 1.0 | 68 | 1.2 | 1 | 0.0 |
| 23 | 5,079 | 100.0 | 4,407 | 86.8 | 540 | 10.6 | 1 | 0.0 | 59 | 1.2 | 72 | 1.4 | - | - |
| 24 | 5,261 | 100.0 | 4,538 | 86.3 | 559 | 10.6 | 4 | 0.1 | 75 | 1.4 | 84 | 1.6 | 1 | 0.0 |
| 25 | 5,047 | 100.0 | 4,345 | 86.1 | 543 | 10.8 | 3 | 0.1 | 66 | 1.3 | 90 | 1.8 | - | - |
| 26 | 4,955 | 100.0 | 4,316 | 87.1 | 485 | 9.8 | 5 | 0.1 | 62 | 1.3 | 86 | 1.7 | 1 | 0.0 |
| 27 | 5,190 | 100.0 | 4,524 | 87.2 | 514 | 9.9 | 8 | 0.2 | 52 | 1.0 | 92 | 1.8 | - | - |

注：平成16年の「和解離婚」と「認諾離婚」は、4月からの数値である。